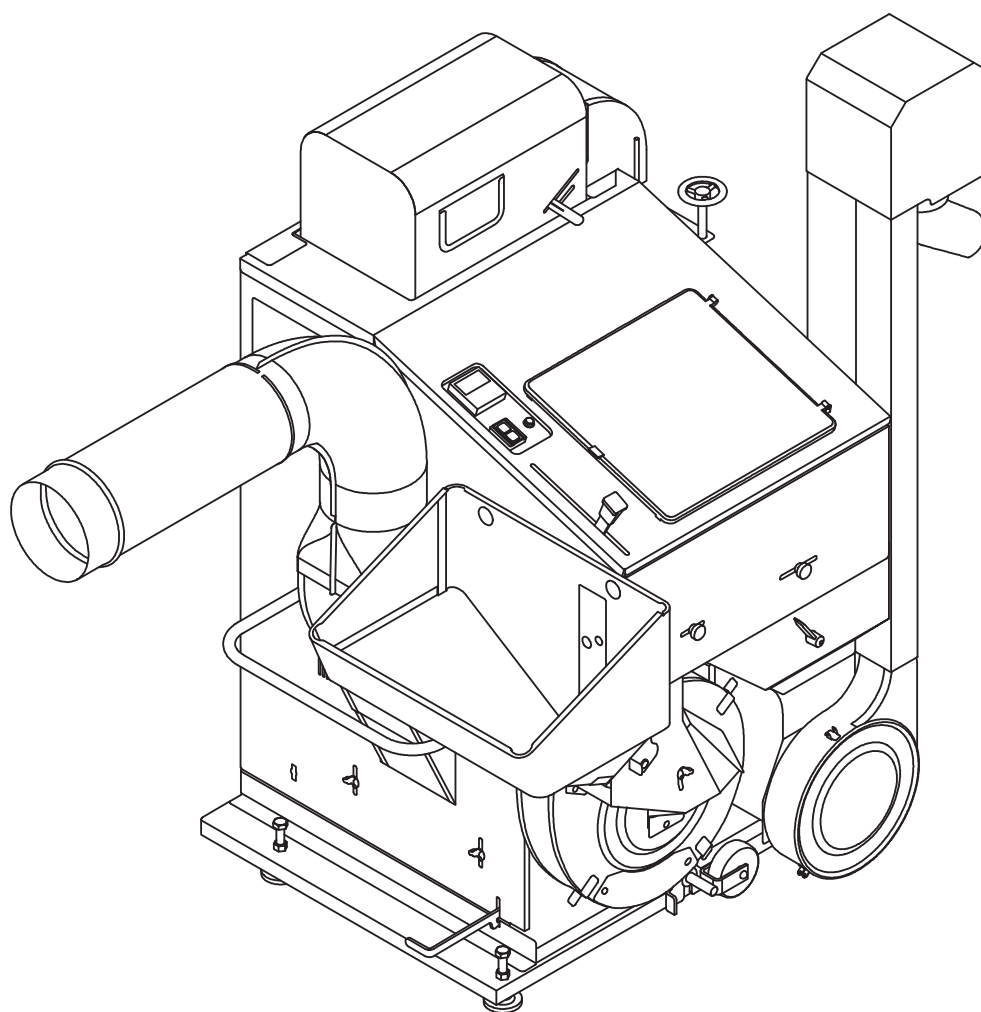


もみすり機

# PMJ20 取扱説明書



取扱説明書を良く読んで十分理解した上で機械を運転してください。  
この取扱説明書は無くさないように保管してください。


# はじめに


---

この度は、当社もみすり機をお買い上げいただきありがとうございます。  
常日頃当社製品をご愛顧下さり心から厚く御礼申し上げます。  
この説明書には、お買い上げいただいた機械を最良の状態で使用していただくための大切なことが書かれています。  
よく読んでご理解いただき、皆様の手引きとして十分役立てていただくようお願いいたします。

- 取扱説明書の内容は、特に重要と考えられる注意事項について次のように表示しています。

 危険 …………… 守らないと**死傷**することがある操作手順や状況。

 警告 …………… 守らないと**死傷**する危険性がある操作手順や状況。

 注意 …………… 守らないと**けが**をすることがある操作手順や状況。



# ご愛用者の方々へのご注意

---

1. この機械は、もみすり及び麦の風選を目的に製造されています。それ以外の用途で使用しないでください。
2. この機械の全部あるいは一部を改造して使用しないでください。
3. もみすり機を使用する前に、この取扱説明書を十分お読みください。  
この機械の操作及び点検手入れを行なうときは、必ずこの取扱説明書に従ってください。
4. この機械の取り扱い上での危険について、すべての状況を予測することはできません。従って、取扱説明書の記載事項や機械に表示してある注意事項は全ての危険を想定しているわけではありませんので、機械の操作または日常点検を行なう場合は、この取扱説明書の記載、本機に表示されている事項に限らず安全対策に関しては十分な配慮をお願い致します。
5. この取扱説明書に従わなかったために、あるいは誤使用や改造がなされたために発生した損害や事故については、弊社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
6. 製品の開発・改良のために常に検討しています。従って仕様など予告なく変更する場合があります。

# サービス保証について

---

## サービス保証

製品は厳密な品質管理と検査を経てお届けしたものです。万一、正常なご使用方法において故障した場合には、お買上げ日より一年間無料で修理いたします。

1. 取扱説明書、本体貼付けラベルなどの注意書きに従った使用により機械が保証期間内に故障した場合には、保証書をご持参ご呈示の上、最寄りの取引先に修理をご依頼ください。
2. 無料修理期間中でも次の場合は有料修理になります。
  - ① 誤った使用方法、あるいは取り扱い上の不注意によって生じた損傷および故障。
  - ② 不当な修理や改造によって生じた損傷および故障。
  - ③ 火災、風水害、地震、雷その他天災、公害、塩害、異常電圧などの外部要因によって生じた損傷および故障。
  - ④ 弊社純正部品以外の使用、購入店またはその指定サービス工場以外での修理による故障。
  - ⑤ 保証書の紛失、保証書の記入事項または字句を勝手に訂正された場合。
3. 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

## 補修用部品供給年限について

1. この製品の補修部品の供給年限(期間)は、製造打ち切り後10年といたします。但し、供給年限内であっても特殊部品については納期などご相談させていただく場合もあります。
2. 補修部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても部品供給のご要請があった場合には、納期及び価格についてご相談させていただきます。

## サービス保証について

---

### 製造番号

もみすり機の製造番号は下の欄に記録してください。  
購入先へ修理を依頼されたり、部品を注文される場合には、この製造番号を必ず一緒にご連絡ください。

製造番号

---

もみすり機型式

---

所有者名

---

作業者名

---

納入年月日

---

保証期間

---

取引先の所在地

店名

---

所在地

---

電話番号

---

最寄りの営業所の所在地

営業所名

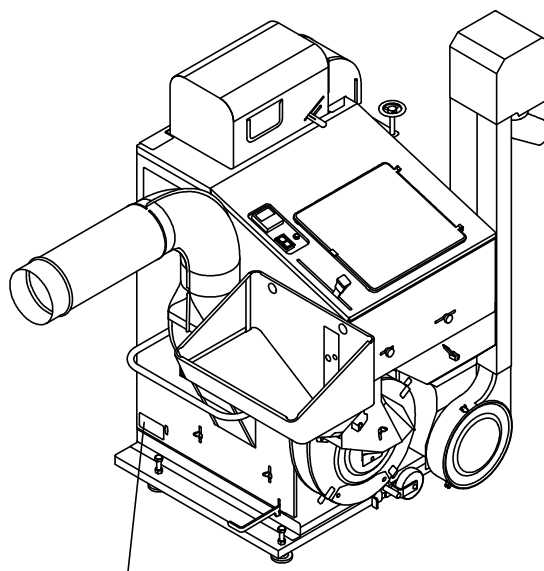
---

所在地

---


電話番号

---



本機型式製造番号貼付位置

# 安全についての注意

 安全な作業をしていただくため、次のことを必ずお守りください。

## 安全ラベル

- もみすり機には、右のような安全ラベルが貼ってあります。安全ラベルには安全上重要な事項が書かれていますので、内容をよく読み、必ず守ってください。
- 安全ラベルの種類・貼付位置はPⅥ～Ⅶ「安全ラベルについて」を参照してください。



## 作業する人の安全について

- 次のような人は、運転をしないでください。
  - ①疲労、病気、薬物の影響、その他の理由により正常な運転のできない人。
  - ②酒気を帯びた人、子供、未熟者。
- 作業する人は、機械に巻き込まれないように服装を整えてから点検、作業にかかってください。

## 機械を動かす前に・・・

- 各部の外装カバー類は安全上必要です。はずしてあるカバー類は、必ず元通りに装着してください。

## 機械を動かす時には・・・

- 元電源を入れる前に、電源スイッチが「OFF」になっているか確認してください。
- 周囲の安全を確かめ、声で合図してください。

## 良い服装



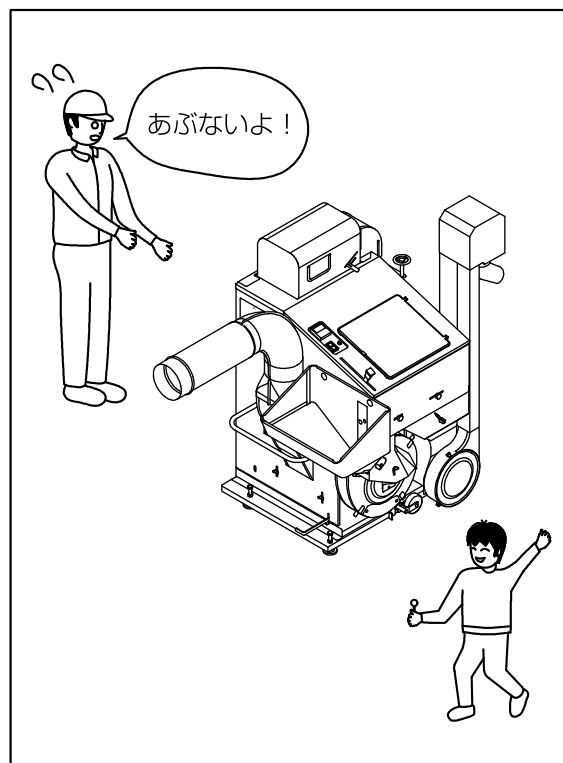
## 安全についての注意

### 作業中には・・・

- 回転部には絶対に手を入れないでください。
- 子供が不用意に近づいたりしないように常に気を配ってください。
- 機械を離れる場合は、電源スイッチを「OFF」にして、モータを止めてください。
- 機械の不調で点検するときは、必ず電源スイッチを「OFF」にし、電源コンセントを抜いてから行なってください。

### 点検・掃除をする時には・・・

- 電源スイッチを「OFF」にし、電源コンセントを抜いてから作業を行なってください。
- 取りはずしたカバー類は、必ず元通りに装着してください。







# 安全ラベルについて

## 安全ラベルの取り扱い

- もみすり機には安全ラベルが貼ってあります。ラベルはすべてよく読み、理解するようにしてください。
- ラベルの内容は特に重要と考えられる取り扱い上の注意事項について次のように表示しています。

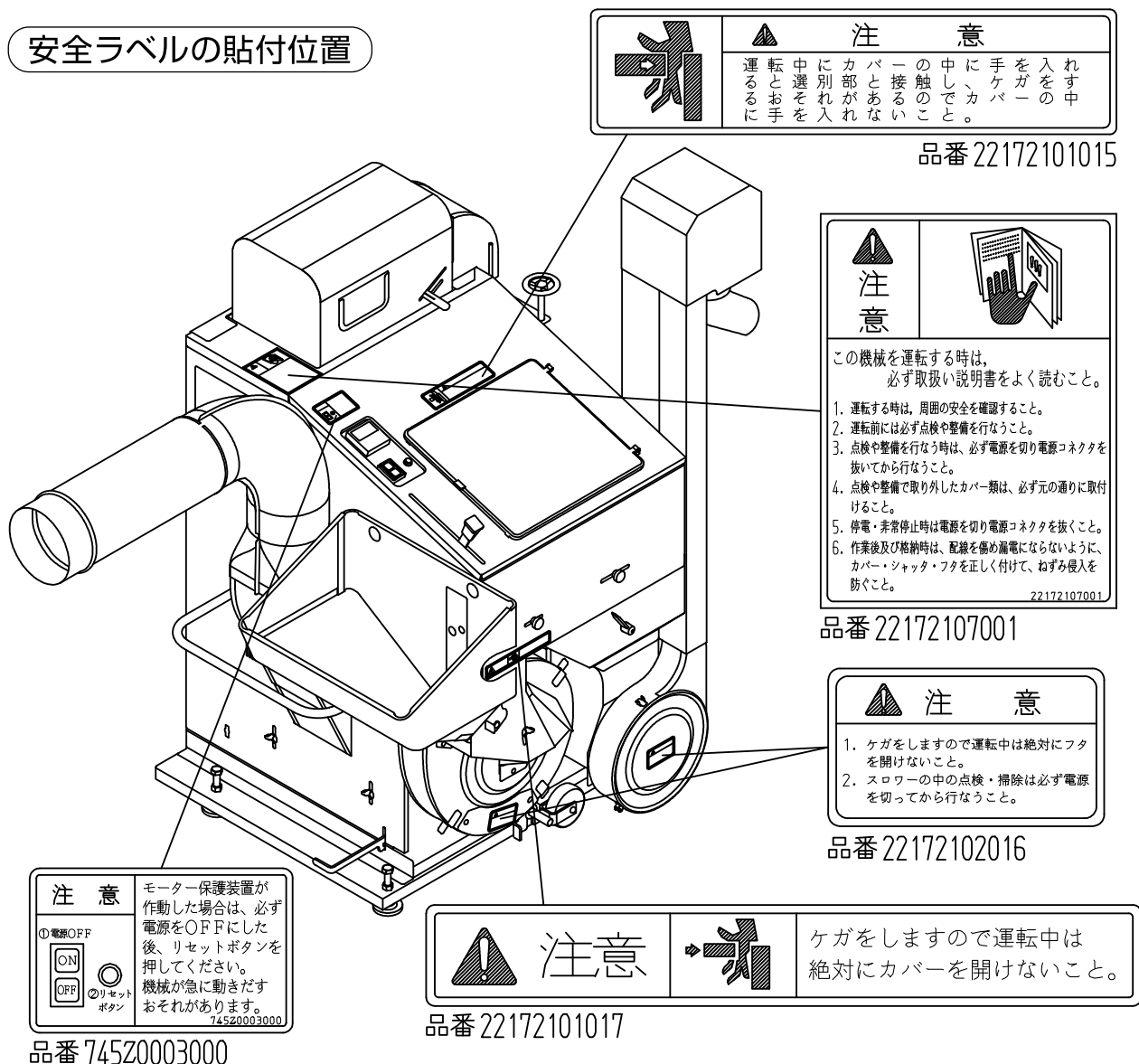
 **危険** …………… 守らないと**死傷**することがある操作手順や状況。

 **警告** …………… 守らないと**死傷**する危険性がある操作手順や状況。

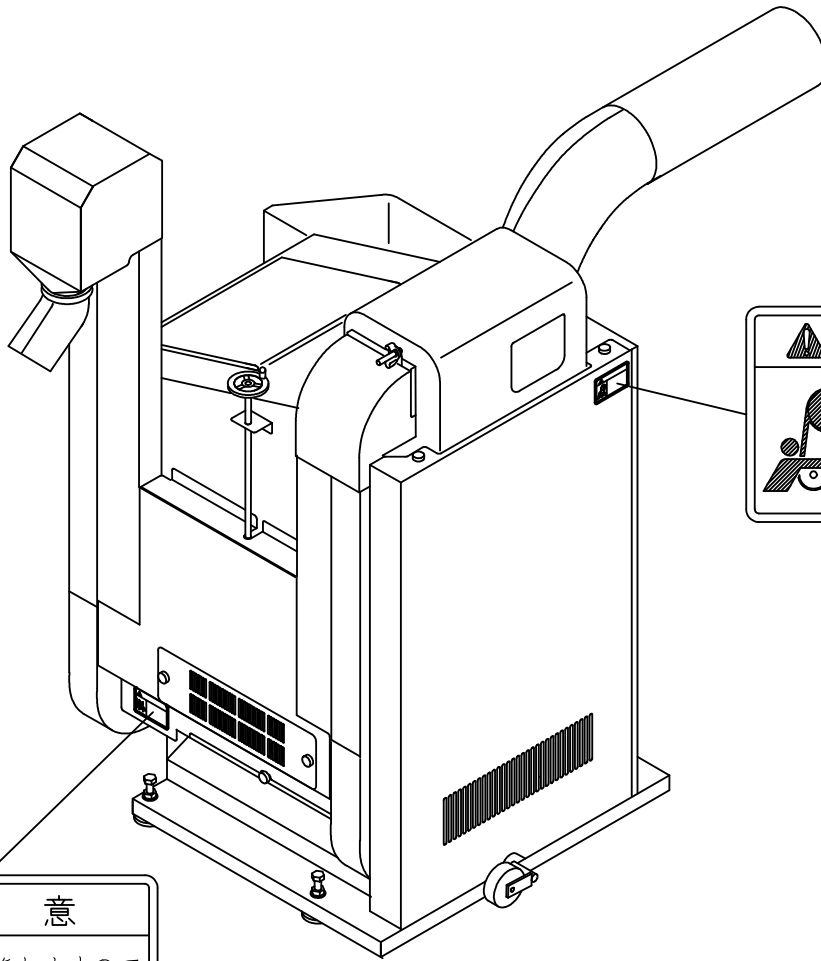
 **注意** …………… 守らないと**けが**をすることがある操作手順や状況。



- いつも汚れを取り、危険・警告・注意等の文字がはっきりと見えるようにしてください。
- 安全ラベルが損傷したら新しいものと交換してください。なお、交換したときは、前と同じ位置に貼ってください。

## 安全ラベルの貼付位置





# 安全ラベルについて



	注 意
	ケガをしますので 運転中は絶対にフ タを開けないこと

品番 22172102011

	注 意
	1. ケガをしますので運 転中は絶対にカバ ーを開けないこと。 2. ベルトの点検・調整 は必ず電源を切っ てから行なうこと。


品番 22172103008



# 目次

---

## はじめに

ご愛用者の方々へのご注意 .....	I
サービス保証について .....	II
 安全についての注意 .....	IV
安全ラベルについて .....	VI

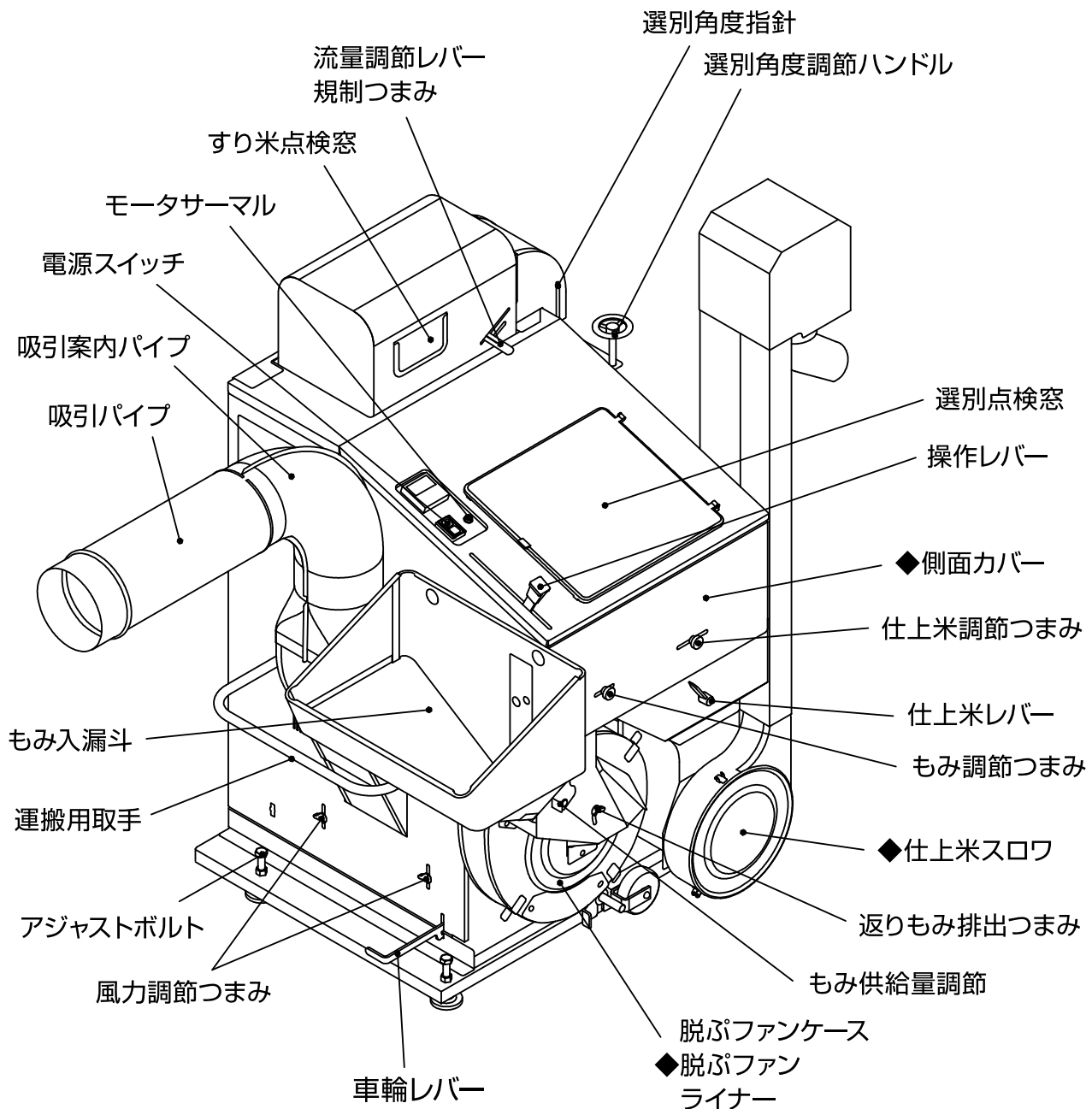
## 目次

<b>各部の名称と働き</b> .....	1
各部の名称 .....	1
操作箇所 .....	3
<b>運転を始める前に</b> .....	7
組立 .....	7
電源の種類と結線 .....	8
据付 .....	9
<b>もみすり作業について</b> .....	11
作業前の確認 .....	11
作業開始 .....	13
作業の一時停止と再開 .....	16
作業終了 .....	18
<b>保守と点検</b> .....	20
スロワ .....	20
ベルト .....	20
脱ぷファン・ライナー .....	21
<b>掃除と保管について</b> .....	22
掃除 .....	22
保管 .....	23
<b>不調時の対応</b> .....	24
<b>主要諸元・機体寸法</b> .....	31
<b>ベルトサイズ・付属品</b> .....	32
<b>主要消耗部品・交換部品・オプション部品一覧</b> .....	33

# 各部の名称とはたらき

機械を見ながら  
確認してください。

## 各部の名称

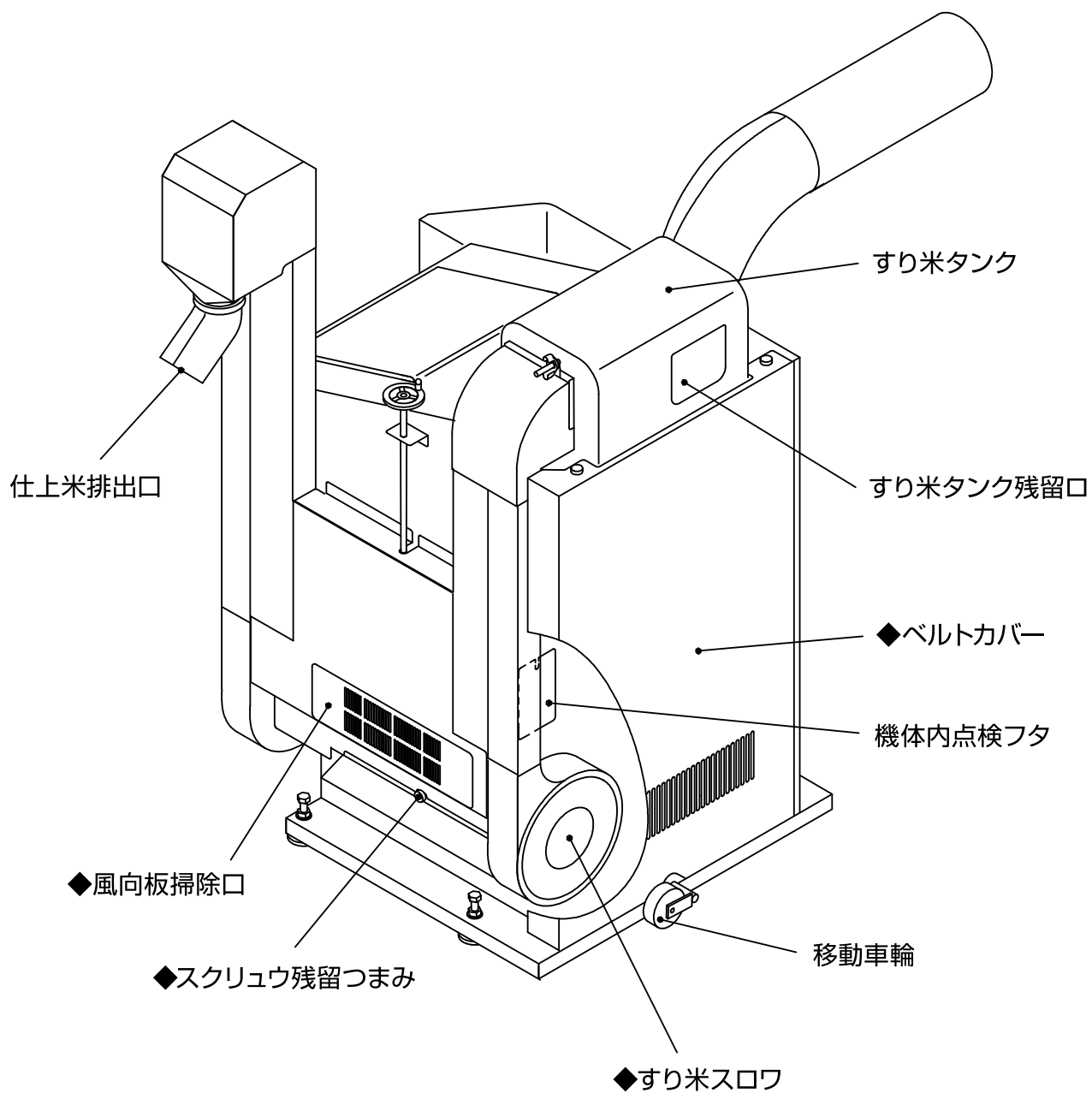


※イラストは一部省略してあります。

### 注意

運転中は危険ですので◆印等の箇所は絶対にあけないでください。点検のためあける場合は必ず電源コンセントを抜いてください。

## 各部の名称



※イラストは一部省略してあります。

### ⚠ 注 意

運転中は危険ですので◆印等の箇所は絶対にあけないでください。点検のためあける場合は必ず電源コンセントを抜いてください。

## 操作箇所

### 操作レバー

脱ぶ・選別の開始・停止を操作します。

**停止** もみすり作業停止の位置です。  
作業開始前、作業終了後（格納時）には必ず操作レバーをこの位置にしてください。

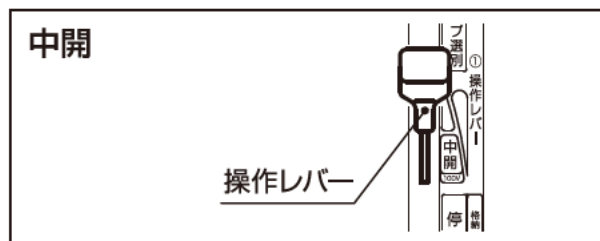
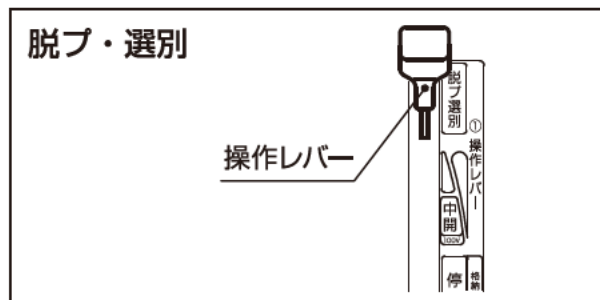
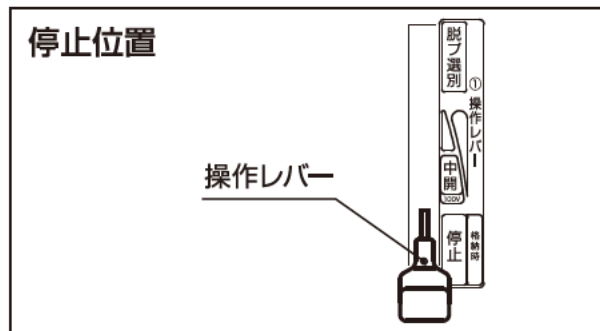
（もみのすり落とし しない）  
（すり米の選別 しない）

**脱ぶ選別** もみのすり落とし及びすり米選別の位置です。選別された玄米はすり米タンクに戻り、もみは再度すり落とされます。

（もみのすり落とし する）  
（すり米の選別 する）

**中開** ●100Vなど電力事情に合わせ使用。  
もみのすり落とし及びすり米選別の位置です。選別された玄米はすり米タンクに戻り、もみは再度すり落とされます。

（もみのすり落とし する）  
（すり米の選別 する）

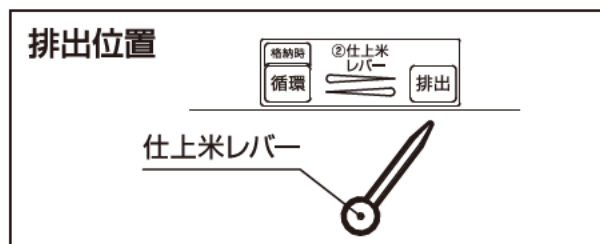
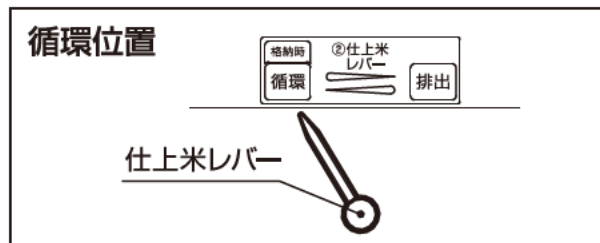


### 仕上米レバー

仕上米の循環・排出を操作します。

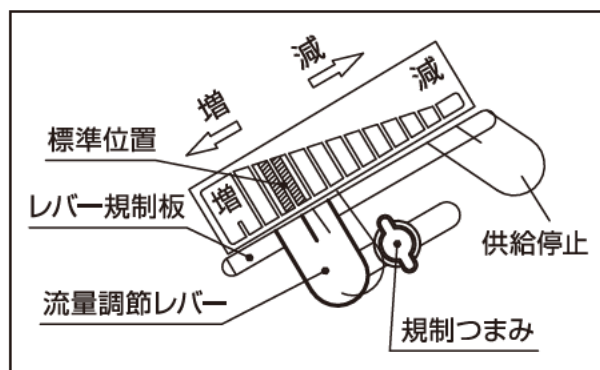
**循環** 仕上米が循環の位置です。  
作業開始前、作業終了後（格納時）には必ず仕上米レバーをこの位置にしてください。

**排出** 仕上米が排出の位置です。  
選別された玄米が仕上米として排出されます。



### 流量調節レバー

選別部に供給する、すり米の量を調節します。  
調節は規制つまみをゆるめ、レバー規制板の規制をはずします。次に供給量を調節し調整量がきまりましたら、忘れずにレバー規制板をレバーに当て規制つまみをしめてください。  
また、供給を停止する場合は流量調節レバーを「減」方向に完全に動かしてください。



## 操作箇所

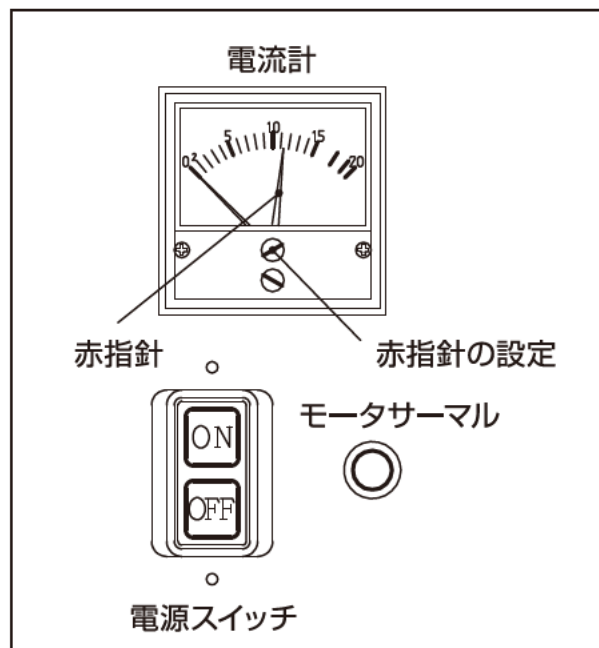
### 電源スイッチ

本機モータの起動・停止をするスイッチです。

- ・「ON」を押すと起動
- ・「OFF」を押すと停止

### 注意

緊急時は、ただちに「OFF」を押してください。



### 電流計

本機モータの負荷状態を示します。赤指針は使用モータの定格電流値にセットされています。これを大きく超えない範囲で運転してください。この赤指針は、工場出荷時に50Hz地区用にセットされています。60Hz地区の方は右表を参考にセットし直してください。

仕様		電流値 (A)	
J20	単相 100V 750W	50Hz	12.0
		60Hz	9.8
	単相 200V 750W	50Hz	6.0
		60Hz	4.9

### モータサーマル

モータの焼き付きを防ぐ為のモータ保護装置です。過負荷運転などにより装置が作動すると、リセットボタンが浮き上がり、モータが停止します。モータサーマルを解除する際は、しばらくたってからリセットボタンを押してください。

### 注意

モータサーマルを解除する際は、電源スイッチを「OFF」にし、電源コンセントを抜いてからリセットボタンを押してください。



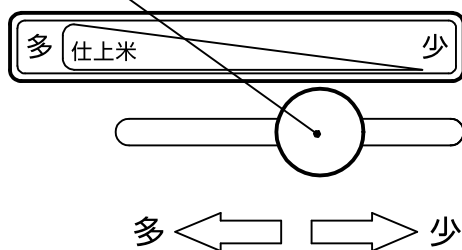
## 操作箇所

### 仕上米調節つまみ

仕上米の取出量を調節します。  
仕上米の中にもみの混入が許容できる範囲で  
取出量をきめてください。

※調節前に仕上米調節つまみをゆるめ、調節後は  
忘れずにしめてください。

### 仕上米調節つまみ

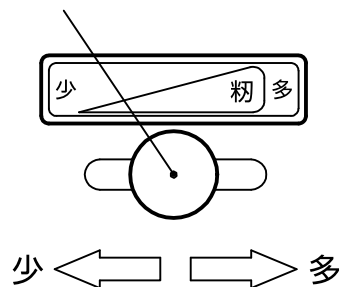


### もみ調節つまみ

返りもみの量を調節します。  
返りもみの中に玄米の混入が多くなる範囲  
で返りもみの量を決めてください。

※調節前にもみ調節つまみをゆるめ、調節後は忘  
れずにしめてください。

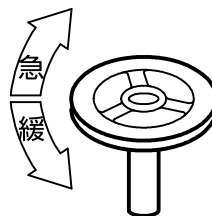
### もみ調節つまみ



### 選別角度調節ハンドル

選別板の角度を調節するハンドルです。  
選別板上にすり米が同じ厚さで広がるよう調節  
してください。

### 選別角度調節 ハンドル



### 選別角度指針



### 返りもみ排出つまみ

返りもみの中に、異物が入っているとき、機外  
に取り出すレバーです。  
作業開始前、作業終了後(格納時)には必ず返  
りもみ排出つまみを「循環・格納」の位置にし  
てください。

※返りもみ排出つまみをゆるめ切換後、必ずつま  
みをしめてください。



通常運転中  
格納時



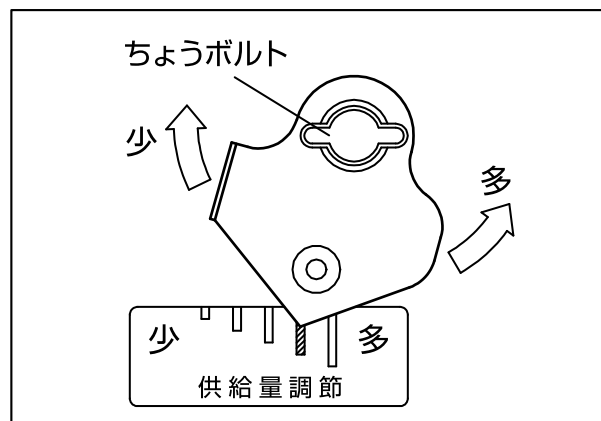
取り出すとき

## 操作箇所

### もみ供給調節

もみの最大供給量を調節します。

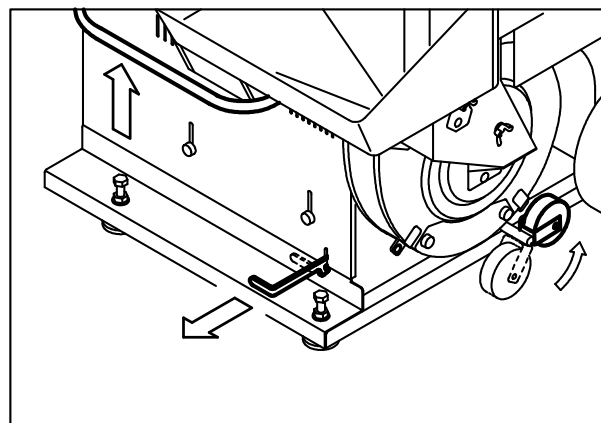
※調節前にちょうボルトをゆるめ、調節後は忘れずにしめてください。



### 車輪レバー

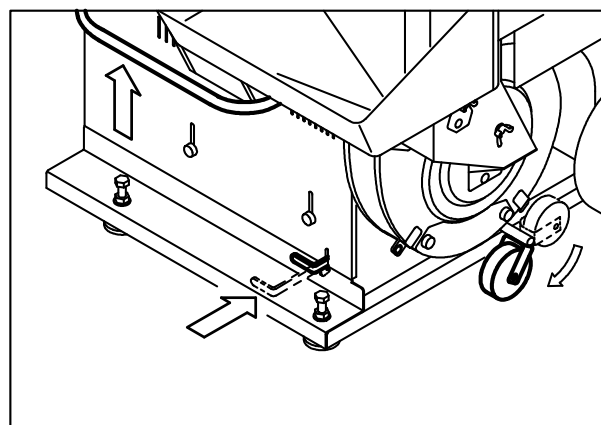
車輪を格納

車輪レバーを引き出し、本機を持ち上げると車輪が格納します。



車輪を使用 (本機の移動)

車輪レバーを戻し、本機を持ち上げると車輪が出ます。



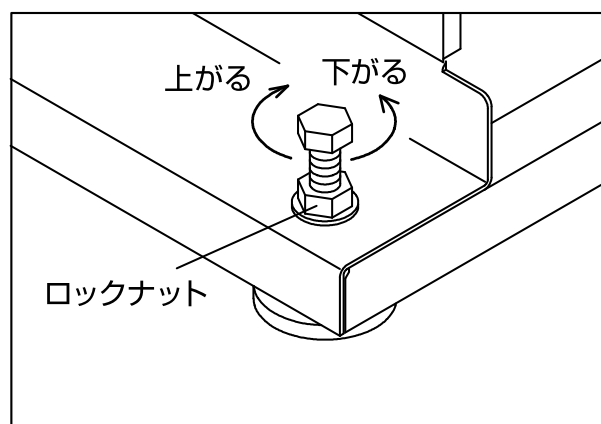
### ⚠ 注意

本機を持ち上げるときは、絶対に足を本機の下に入れないでください。

### アジャストボルト 4本

機体の水平、ガタつきを調節します。

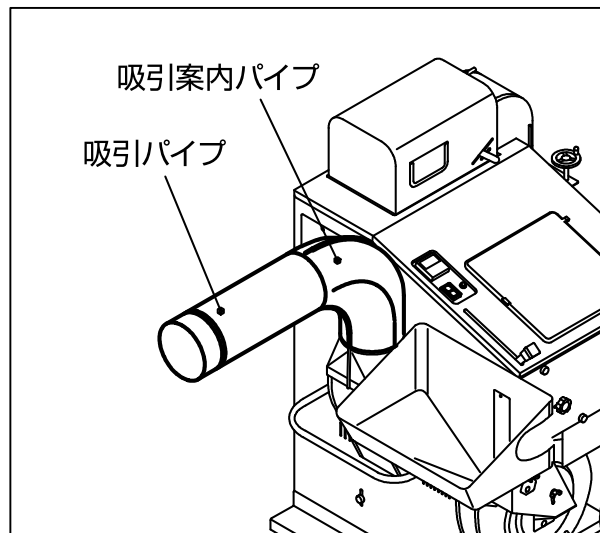
※調節前にロックナットをゆるめ、調節後は忘れずにしめてください。



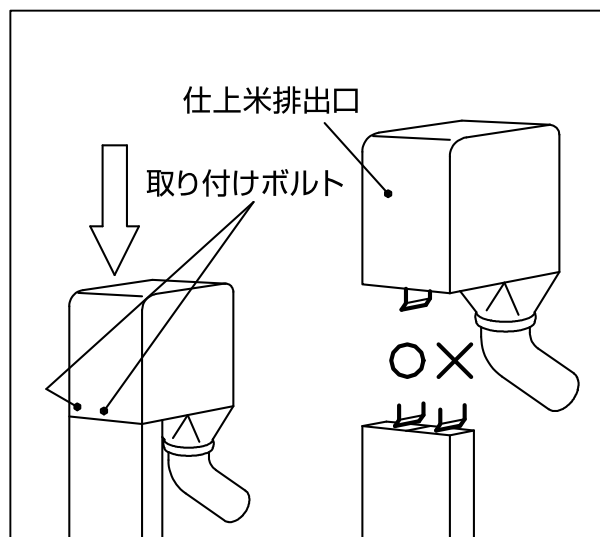
# 運転を始める前に

## 組立

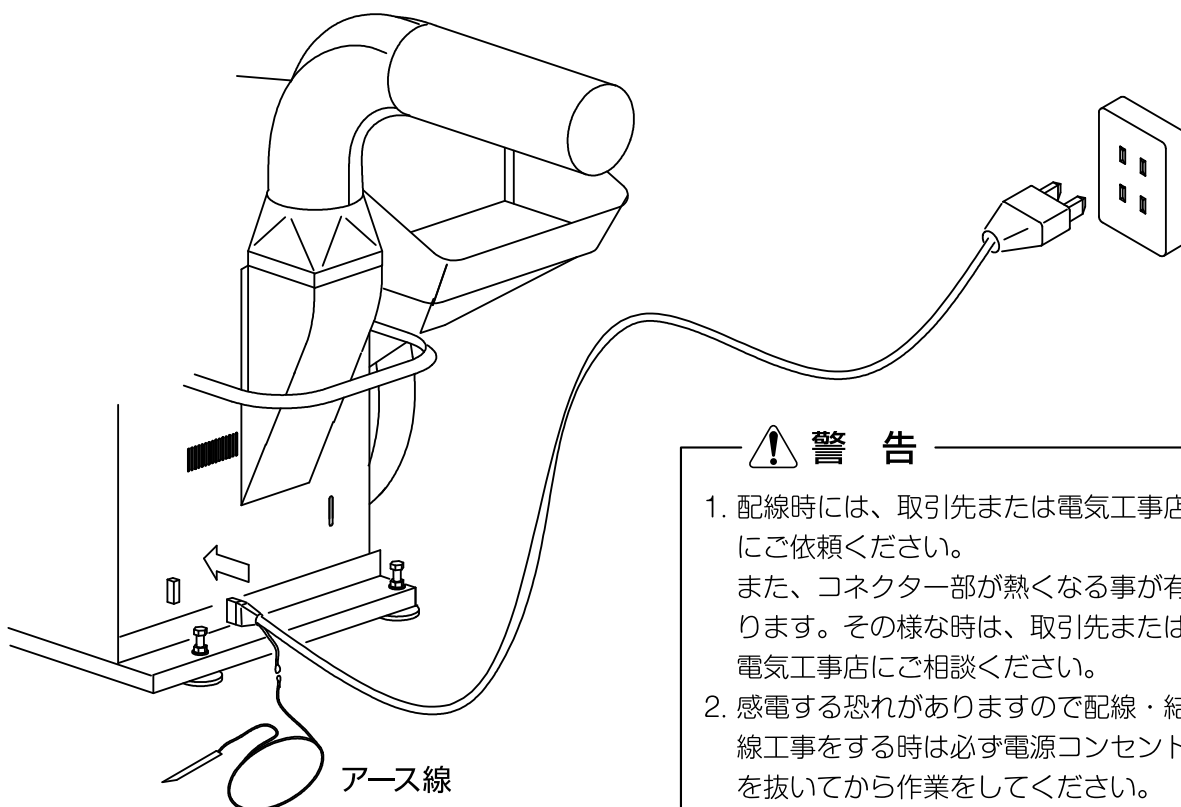
吸引関係の各パイプを取り付けてください。



仕上米排出口を取り付けてください。  
取り付け後忘れずに取り付けボルトをしめて  
ください。



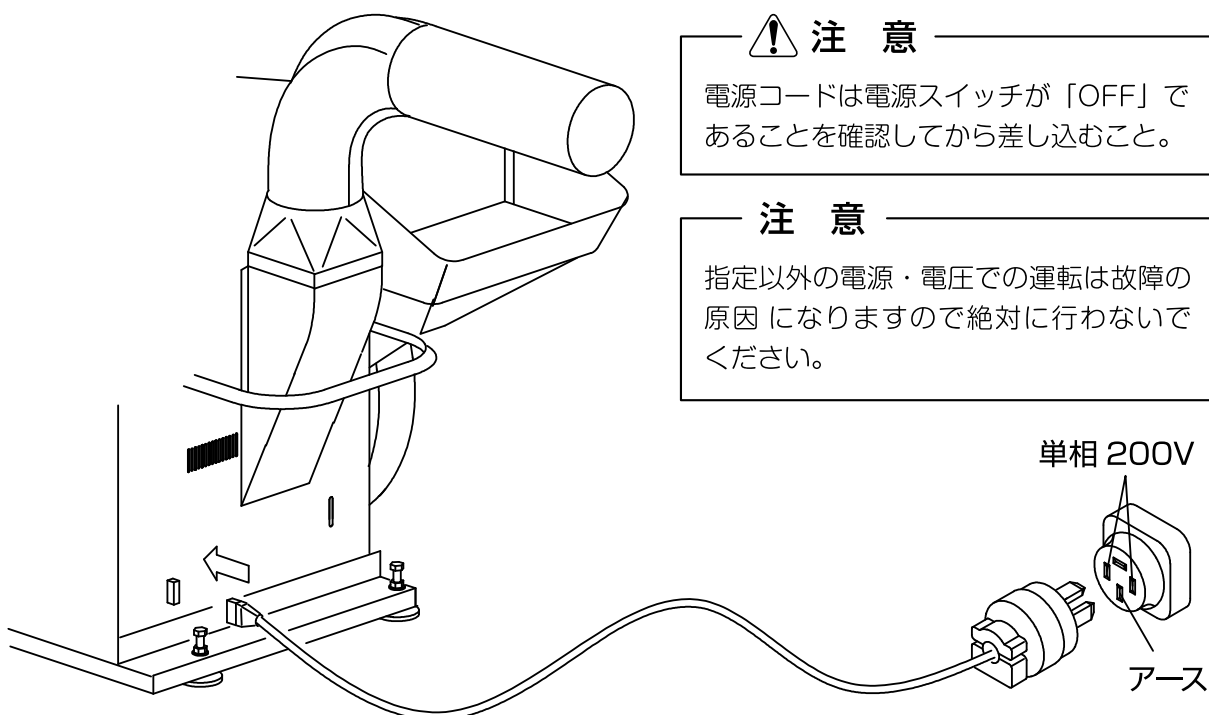
## 単相100V



### 警告

1. 配線時には、取引先または電気工事店にご依頼ください。  
また、コネクター部が熱くなる事があります。その様な時は、取引先または電気工事店にご相談ください。
2. 感電する恐れがありますので配線・結線工事をする時は必ず電源コンセントを抜いてから作業をしてください。
3. 万一漏電した場合の感電事故防止のため必ず電源アースを取ってください。

## 単相200V



### 注意

電源コードは電源スイッチが「OFF」であることを確認してから差し込むこと。

### 注意

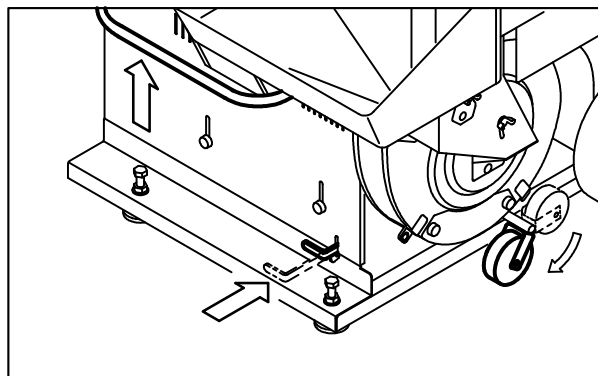
指定以外の電源・電圧での運転は故障の原因になりますので絶対に行わないでください。

## 据付

車輪を出してください。

据付位置へ移動してください。

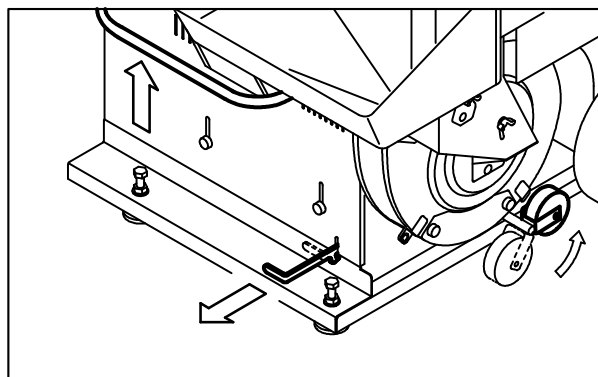
もみ入れ漏斗と吸引パイプと仕上米排出口の位置に注意し、平らな場所へ据付けてください。



車輪を格納してください。

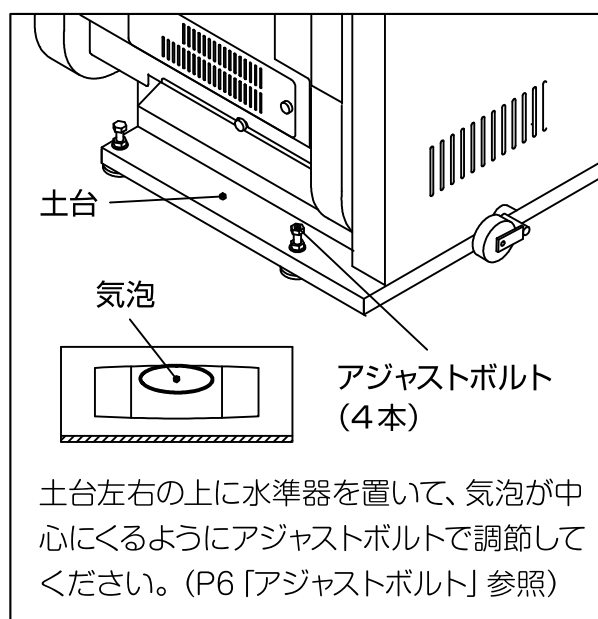
### ⚠ 注意

本機を持ち上げるときは、絶対に足を本機の下に入れないでください。



水準器で機体の水平を確認してください。

ガタつきがないか確認してください。



## 据付

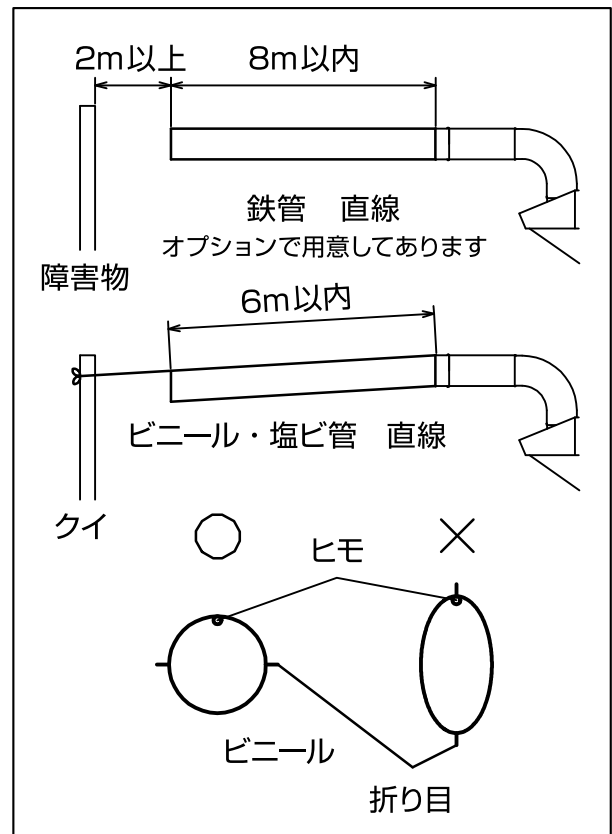
延長パイプを取り付けてください。  
延長パイプは、鉄板製をおすすめします。  
延長パイプは、風下に向かって取り付けてください。先端2m以内に障害物がある場合は取り除いてください。

### ⚠ 注意

鉄板製延長パイプを取り付けるときは、しっかりしたロープで落下しないよう確実に取り付けてください。

ビニールパイプを使用する場合は、必ずヒモを通し、たるまないように張ってください。  
ビニール・塩ビ管は静電気の影響があります。  
パイプ先端を下げて使用してください。

※粉ガラ回収装置などを使用すると、風選性能が低下する場合があります。



# もみすり作業について

安全確認してください。

## 作業前の確認

### 機体のガタつき

1. 電源スイッチの「ON」を押してください。

電源スイッチ

「安全確認」

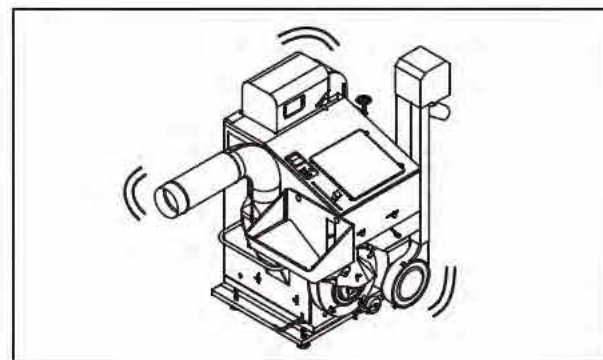


2. 操作レバーを **脱ブ選別** にしてください。

脱ぶ選別位置

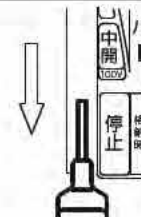


機体がガタついていないか確認してください。  
ガタついているときは、4本のアジャストボルトで、ガタつかないように調節してください。  
調節後は、必ず水準器で水平を確認してください。(P9「据付」参照)



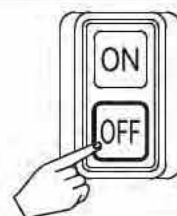
3. 操作レバーを **停止** にしてください。

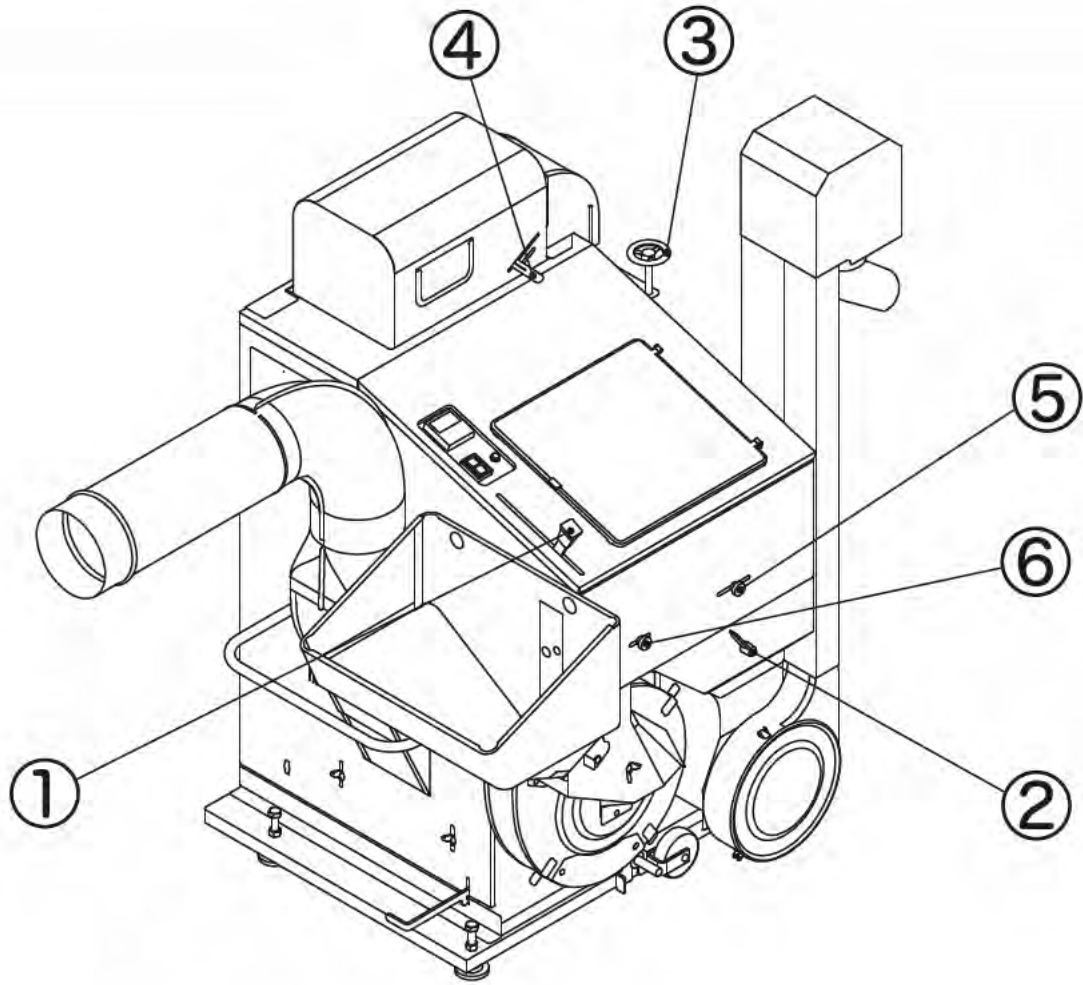
停止位置



4. 電源スイッチの「OFF」を押してください。

電源スイッチ





1 操作レバー  
「停止位置」

操作レバー

2 仕上米レバー「循環」

仕上米レバー

3 選別角度調節  
ハンドル

選別角度指針  
「中央」

4 流量調節レバー  
「標準」

5 仕上米調節つまみ「最少」

6 もみ調節つまみ「中央」



## 作業開始

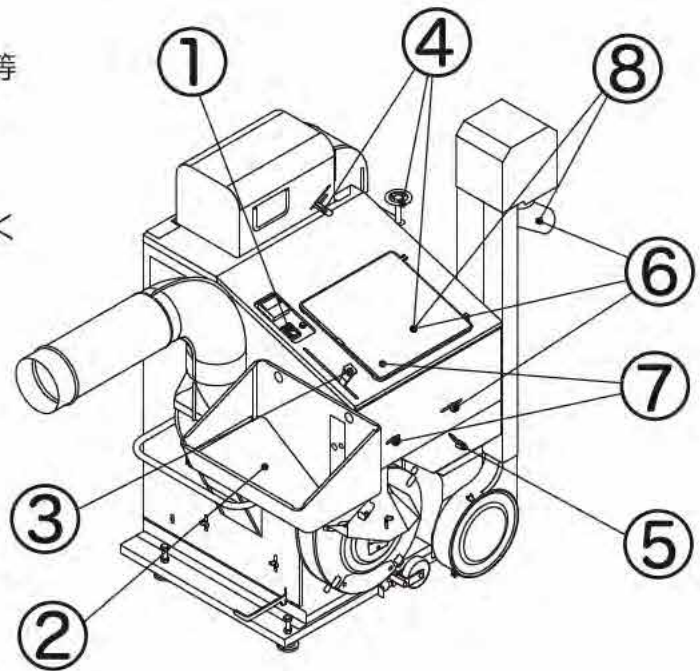
### ●100V使用において

電力事情等により運転開始時に過負荷等で作業できない場合があります。

運転開始時の操作レバーを「脱ブ選別」位置までの作業を、以下の様に行なってください。

又、作業の一時停止と再開及び、作業終了は通常運転方法で行なってください。

この時は、「中開」位置に止めずに、「脱ブ選別」又は「停止」位置に直接動かしてください。



1. 電源スイッチの「ON」を押してください。

電源スイッチ

「安全確認」



2. もみ入漏斗にもみを張り込んでください。

3. 操作レバーを「脱ブ選別」の位置にしてください。

脱ぶ選別位置

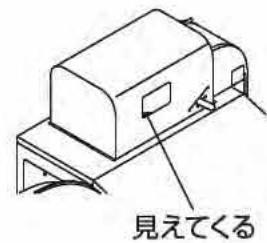
100V使用時  
中開の位置



### ●100V使用時

操作レバーを「中開」の位置にしてください。

選別板の全面にすり米が広がり、すり米点検窓からすり米が溜まって来た事が確認できましたら(1分程度)、操作レバーを「脱ブ選別」の位置にしてください。



100V使用時  
脱ぶ選別位置



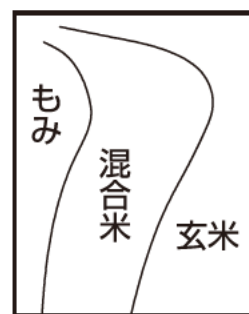
## 作業開始

4. すり米の選別具合を確認してください。  
 選別点検窓から選別状態を確認してください。  
 すり米が選別板の幅いっぱい広がっていますか。  
 玄米層ともみ層がほぼ同じ厚さになっていますか。  
 層厚は7~10mmが適正です。

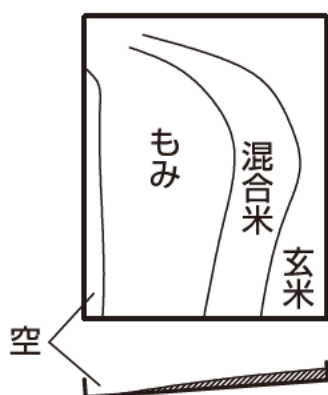
### ⚠ 注意

選別状態を確認するときは、選別点検窓から手を入れないでください。

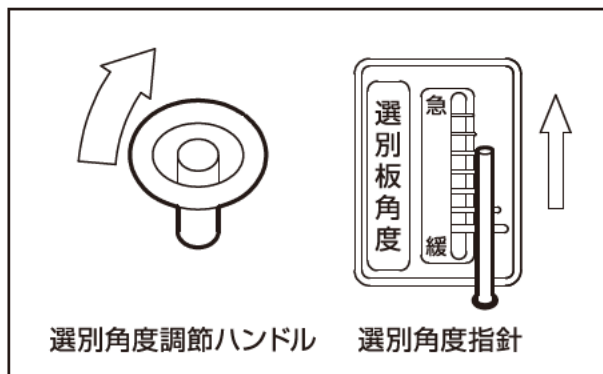
良い状態



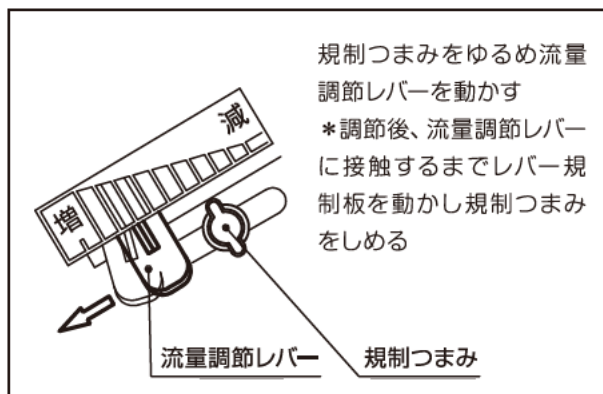
もみ層側が薄く、選別板が見える場合は



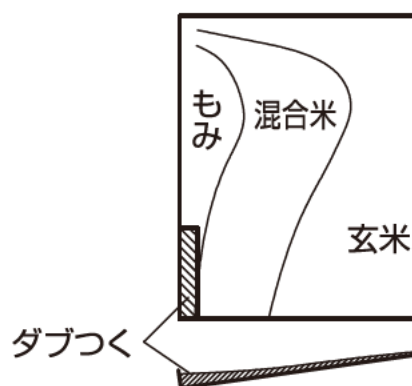
選別角度を徐々に急にする



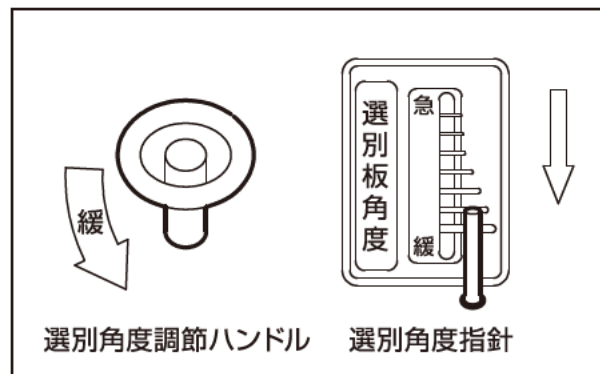
又は、すり米供給量を半目盛ずつ増やす



もみ層側が厚く、ダブつく場合は



選別角度を徐々に緩くする

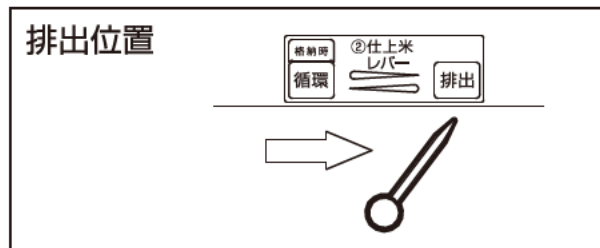


又は、すり米供給量を半目盛ずつ減らす

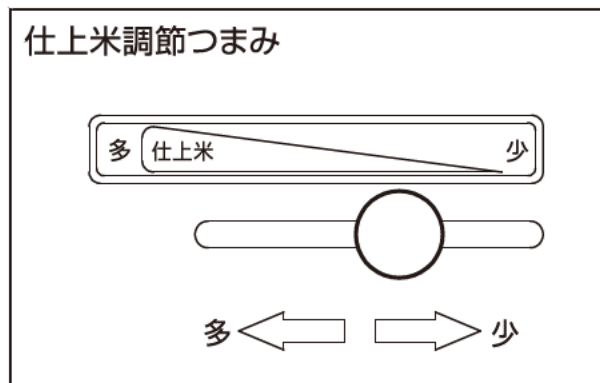


## 作業開始

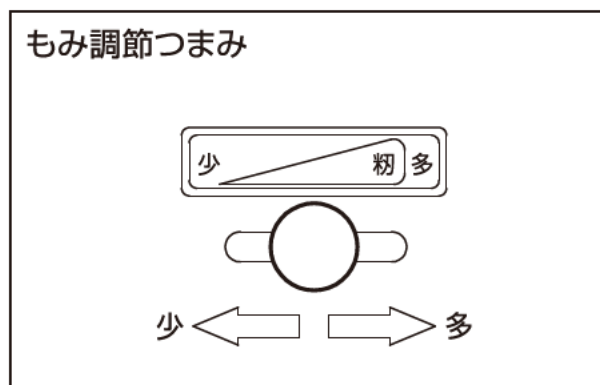
5. 仕上米レバーを「排出」の位置にしてください。



6. 仕上米調節つまみを調節してください。  
仕上米の中にもみの混入が許容できる範囲で取出量をきめてください。  
取出量がきまりましたら、仕上米出口で仕上米を確認してください。  
もみの混入の目安は、手のひらに仕上米を受けてその中にもみの混入が0～3粒程度です。  
(仕上米1合中に粉10粒以内)



7. もみ調節つまみを調節してください。  
返りもみの中に玄米の混入が多にならない範囲で調節してください。

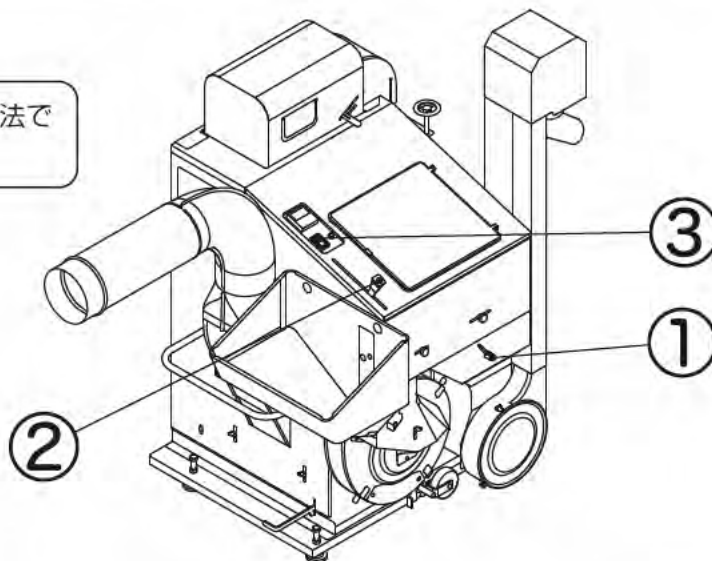


8. 各調節が適切かしばらく様子を見ます。  
約5分ほど様子を見ます。確認ポイントはもみ層で、もみ層の範囲が広くなったり極端に狭くなったりしなければ、調節完了です。  
あとは時々、選別状態と仕上米を確認してください。

## 作業の一時停止と再開

### 一時停止

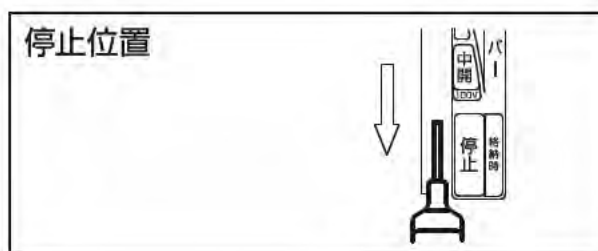
※次回、同じもみで作業する場合にはこの方法で作業を終了すると便利です。



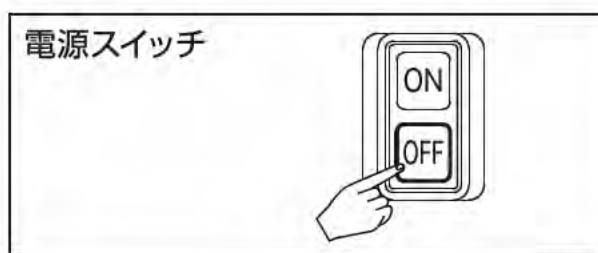
1. 仕上米レバーを **循環** にしてください。



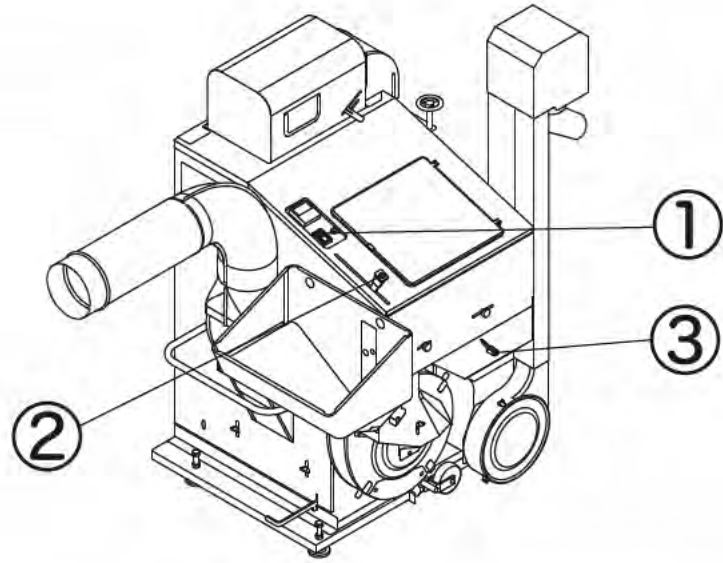
2. 操作レバーを **停止** にしてください。



3. 約5秒ほど待ち電源スイッチの「OFF」を押ししてください。



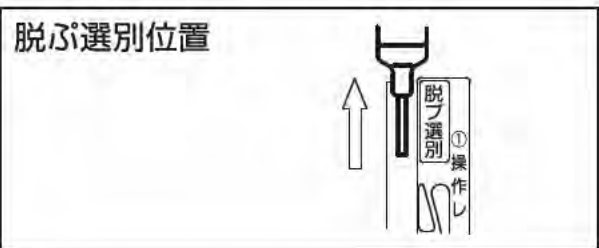
再開



1. 電源スイッチの「ON」を押してください。



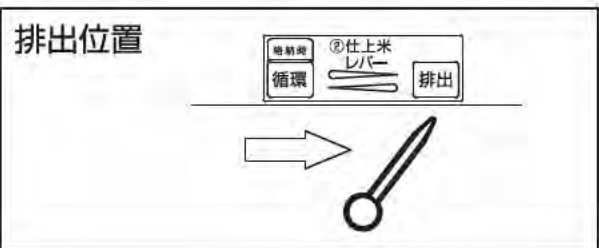
2. 操作レバーを **脱フ選別** の位置にしてください。  
選別点検窓から選別状態を確認してください。

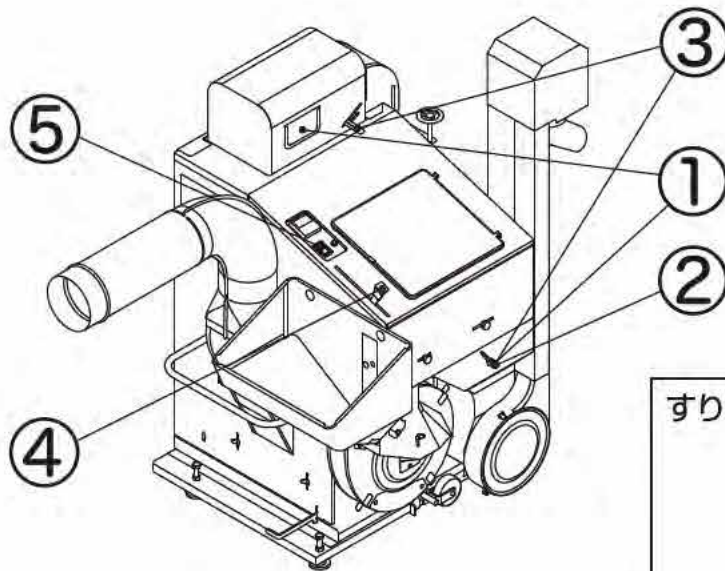


**注意**

選別状態を確認するときは、選別点検窓から手を入れないでください。

3. 仕上米レバーを **排出** の位置にしてください。

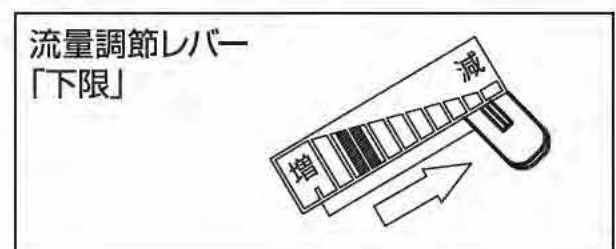
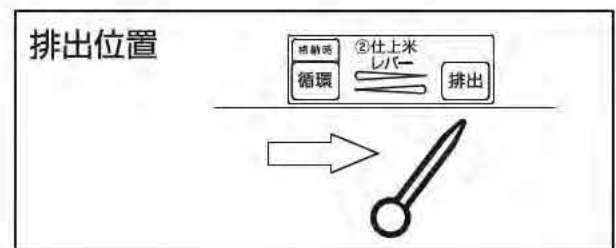
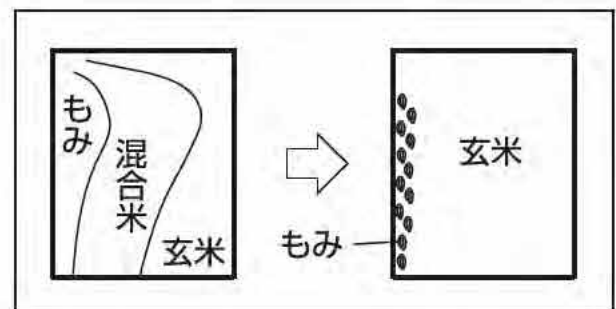
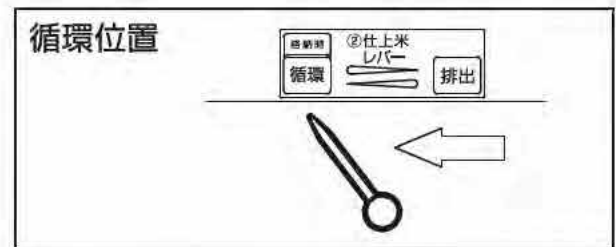




1. もみ入漏斗にもみがなくなり、すり米タンク  
のすり米がすり米点検窓から見えなくな  
りましたら、ただちに仕上米レバーを  
**循環** にしてください。

2. 約1分程度で選別板上のもみが少なくなり  
ますので、仕上米レバーを **排出** にしてく  
ださい。

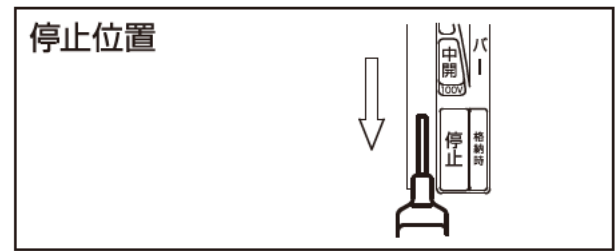
3. すり米が少なくなり、仕上米にもみが混入  
しそうになりましたら、仕上米レバーを  
**循環** にし、流量調節レバーを閉じてくだ  
さい。



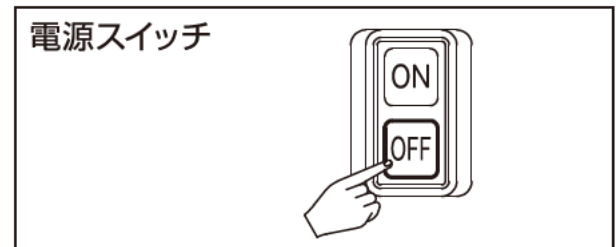
## 作業終了

---

4. 選別板上にすり米がなくなったら操作レバーを **停止** にしてください。



5. 約5秒ほど待ち、電源スイッチの「OFF」を押してください。



# 保守と点検



必ず電源コンセントを抜いてから点検してください。

※始業前に点検する習慣をつけましょう。

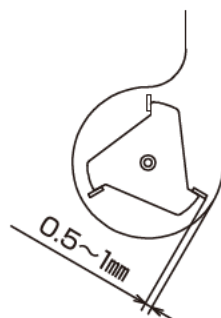
## スロワ

羽根とケースの間は、図の位置で0.5~1mmに調節してください。

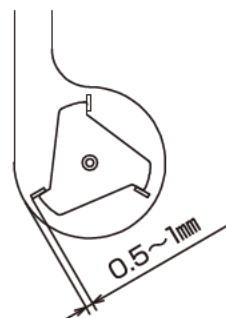
### 注意

はずしたカバー・ビス・ナット類はしっかり取り付け、元通りにしてください。

仕上米スロワ

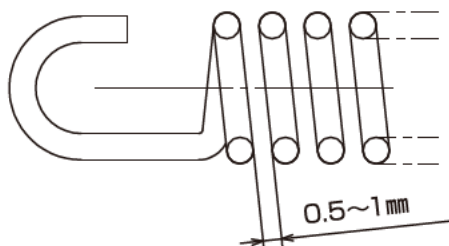


すり米スロワ



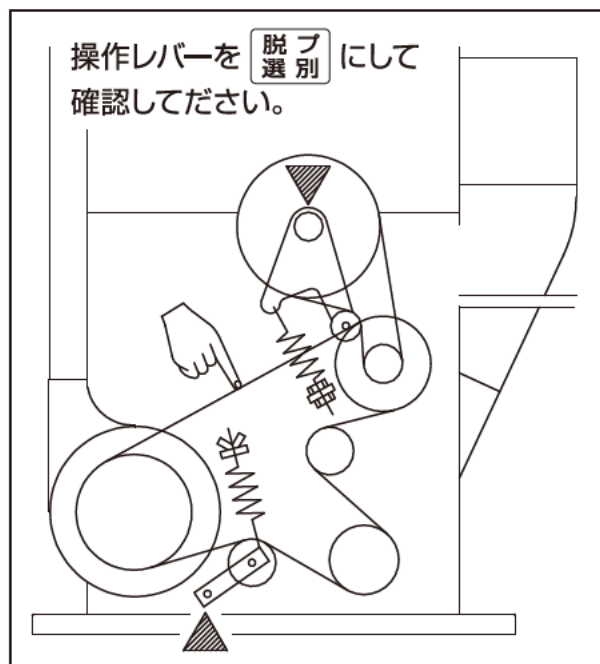
## ベルト

1. ベルトの張りを確認してください。  
テンションスプリングのすきまが0.5~1mm程度になるように調節してください。



2. 印の所を手で押し各テンションがスムーズに動くか確認してください。  
▲印のテンション支点部には、時々注油してください。  
ベルトにきれつやほころびがないか確認してください。

操作レバーを脱選別にして確認してください。



### 注意

はずしたカバー・ビス・ナット類はしっかり取り付け、元通りにしてください。

※ベルトは切れるまで使用せずに早めに交換してください。

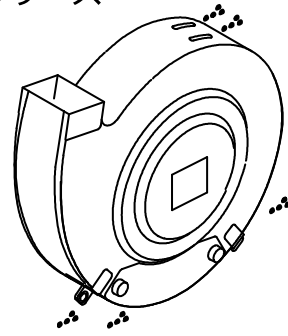


## 脱ふファン・ライナー

脱ふファンおよびライナーは消耗品です。  
脱ふファンケース外周部よりもみや玄米等が飛び出してきましたり、あるいは脱ふ率があがらなくなってきましたら脱ふファンとライナーを交換してください。  
交換は、取引先にご相談ください。

※交換の目安は約500俵です。  
脱ふファン・ライナーは同時に交換してください。

脱ふファンケース



# 掃除と保管について



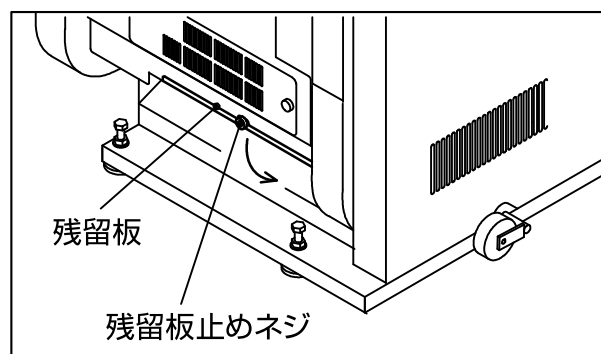
必ず電源コンセントを抜いてから点検してください。

## 掃除

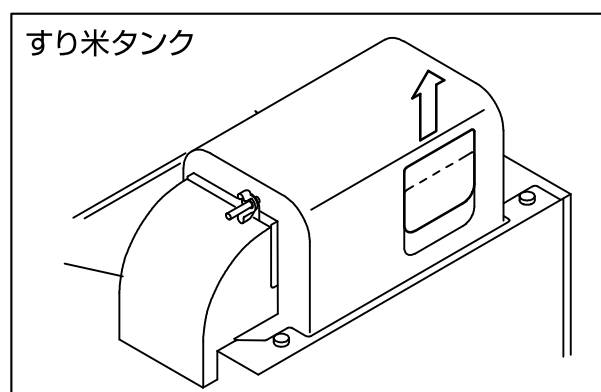
### ⚠ 注意

感電する恐れがあります。  
掃除をする時には、必ず元電源を切り電源コンセントを抜いてから作業をしてください。

1. 機体内外の掃除をしてください。
2. コンベア軸下残留処理  
残留板の止めネジをゆるめ残留板を下げて  
ください。



3. すり米タンク内残留処理  
すり米タンク残留口をはずし、残留米を  
かき出してください。

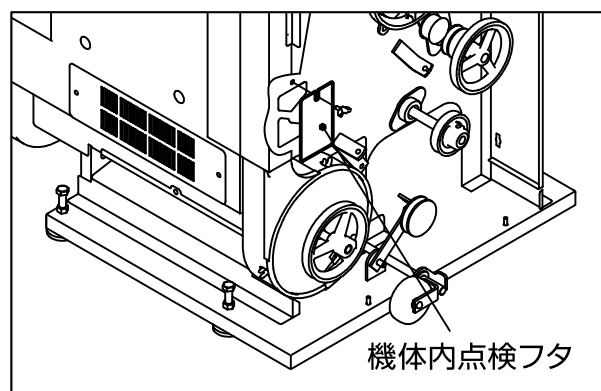


4. 機体内点検  
機体内点検フタをはずし、ゴミなどを取り  
除いてください。

### ⚠ 注意

はずしたカバー・ビス・ナット類はしっかり取り  
付け、元通りにしてください。

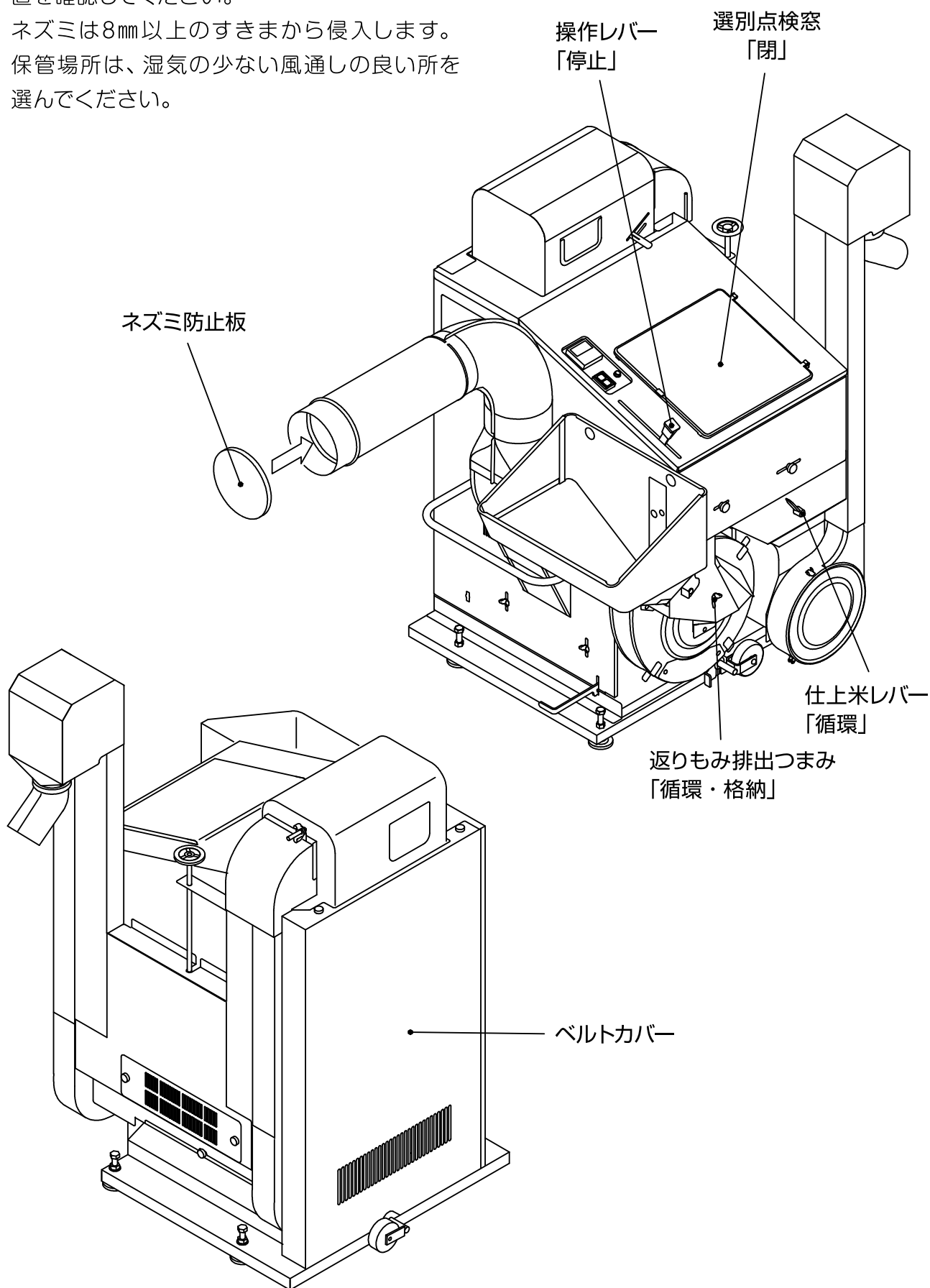
ブロワやコンプレッサがありましたら、使用して  
ください。



## 保管

機体内外の掃除・残留処理を行なった後、ネズミ防止板・カバー類を取り付け、各レバーの位置を確認してください。

ネズミは8mm以上のすきまから侵入します。保管場所は、湿気の少ない風通しの良い所を選んでください。



# 不調時の対応



必ず電源コンセントを抜いてから点検してください。

※原因がわからないとき、結線を変更するときは、取引先または電気工事店にご依頼ください。

## 電源スイッチを「ON」にしてもモータが回らない

### 原因 1

機械に電源がきていない、あるいは欠相している。

### 処置 1

- 屋内のヒューズ切れあるいはブレーカが働いていないか確認してください。
- コードの断線、コード止めネジのゆるみがないか確認してください。

### 原因 2

モータサーマルが作動している

### 処置 2

リセットボタンを押し、モータサーマルを解除してください。

### 注意

モータサーマルを解除する際は、電源スイッチを「OFF」にし、電源コンセントを「抜いてからリセットボタンを押してください。

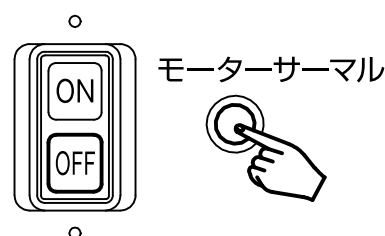
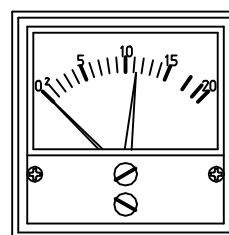
### 注意

モータサーマルを解除する際は、しばらくたってから、リセットボタンを押してください。

### 注意

感電する恐れがあります。  
点検をするときは必ず電源コンセントを抜いてください。

### 処置 2



## 電源スイッチを「ON」にしてもモーターが唸るが回らない

※ただちに電源スイッチの「OFF」を押してください。

### 原因 1

機体内がつまっている。  
(脱ぶファン・スロワ・コンベア軸等)

### 処置 1

つまりを取りのぞいてください。

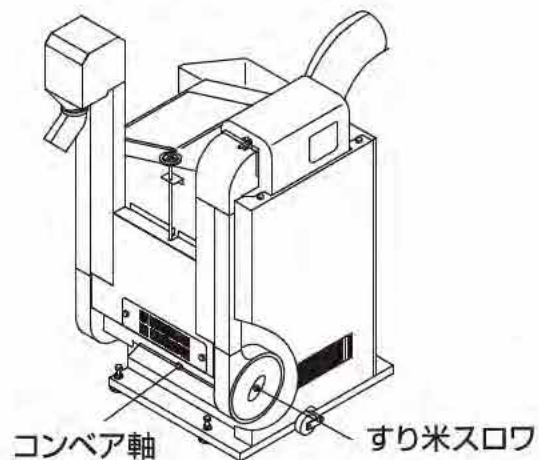
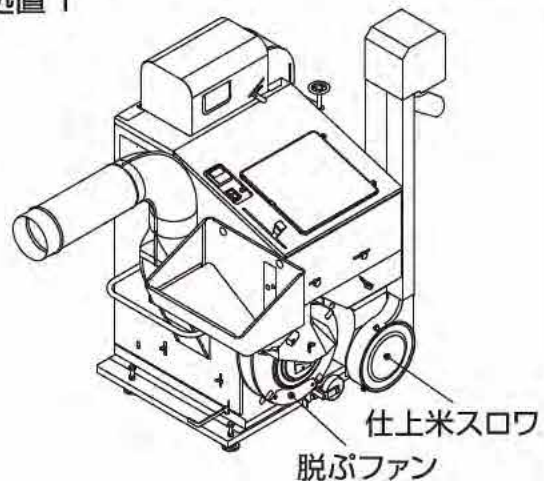
### ⚠ 注意

点検時は必ず電源スイッチを「OFF」にし、電源コンセントを抜いてからはずしてください。

### ⚠ 注意

点検後、はずしたカバー・ビス・ナット類は元通りに取り付けてください。

### 処置 1



## モータは回るがすぐにブレーカが落ちる

※ただちに電源スイッチの「OFF」を押してください。

### 原因 1

モータの起動電力が足りない。

※モータには、起動時に定格電流の3倍以上の突入電流が流れます。

この電流はモータの回転数がある程度まで上がるまで流れます。(通常は1秒程度)

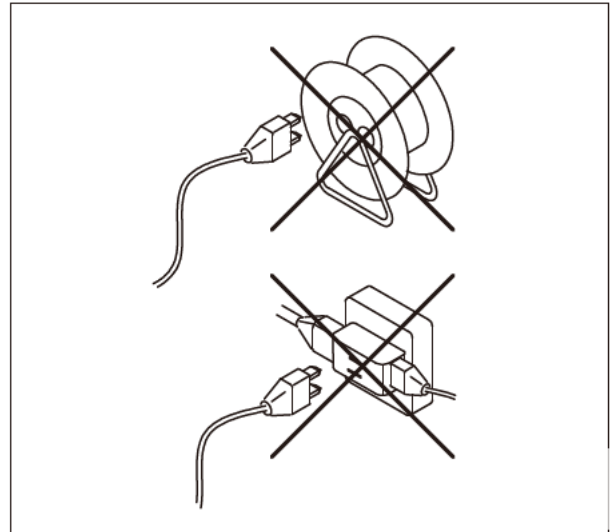
しかし、電力事情の良くない地域ではこの突入電流のため電源電圧が下がりモータの起動力不足が発生します。モータの起動力が不足するとモータの回転数がいつまでも上がらず突入電流がいつまでも流れ、ついにはブレーカが落ちます。

### 処置 1

- コードリール等の長いコードを使用している時は付属のコードのみで使用してください。
- タコ足配線は危険です、直接コンセントに差し込んでください
- 他の機械と同時に使用している時は他の機械は、停止してください。
- 原因がわからないときは、取引先にご相談してください。

### ⚠ 警告

感電するおそれがあります。  
点検をするときは必ず電源コンセントを抜いてください。



## すり落しを始めると、モータが止まってしまう (100V使用時など)

### 原因 1

モータの使用電力が足りない。

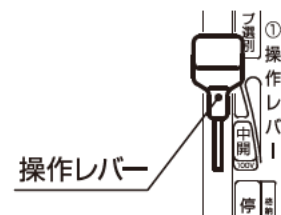
### 処置 1

- 上記 処置 1 対応。

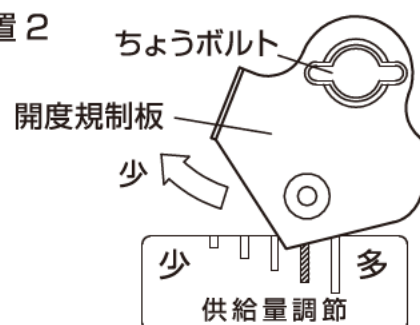
### 処置 2

- 操作レバーを **中開** 位置より、すり落し始める。
- もみ供給量を1目盛ずつ減らしてください。

### 処置 2



### 処置 2



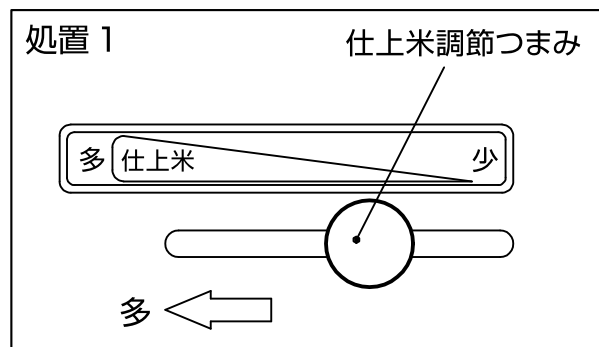
## 能率があがらない

### 原因 1

仕上米調節レバーの開きが少なすぎる。

### 処置 1

仕上米内のもみ混入が許容できる範囲で仕上米調節レバーを「多」方向に動かしてください。



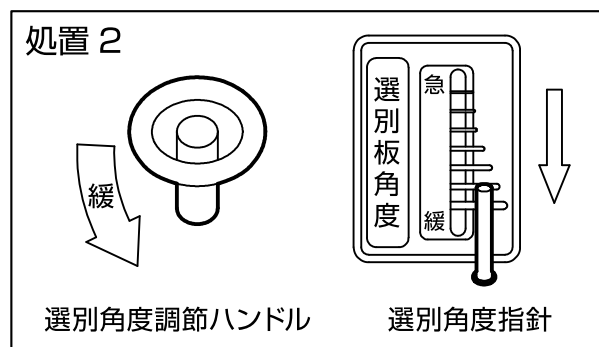
### 原因 2

選別板角度が急すぎる。玄米層が薄い。

### 処置 2

- 選別板角度を徐々に緩くし、玄米層ともみ層をほぼ同じ厚みにしてください。
- 選別板角度調節後、選別板上の層厚が薄い時は、すり米供給量を半目盛つつ増やしてください。

※層厚は7～10mmが適正です。



### 原因 3

脱ぶ率が低い。(もみ層幅が5cm以上)

### 処置 3

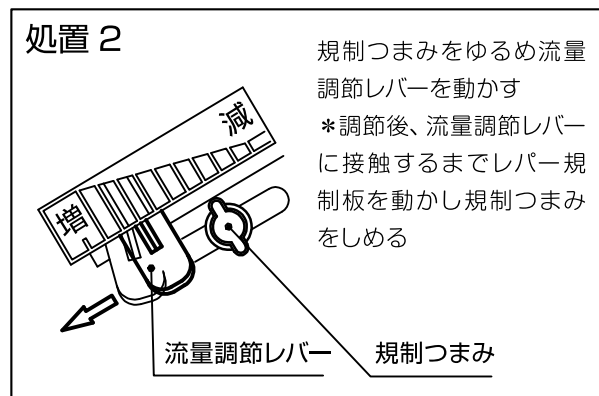
もみ調節つまみを「多」方向に動かしてください。

### 原因 4

本機の据付がおかしい。(水平がでていない、ガタがある等)

### 処置 4

正しく据付けてください。  
P9「据付」を参照してください。

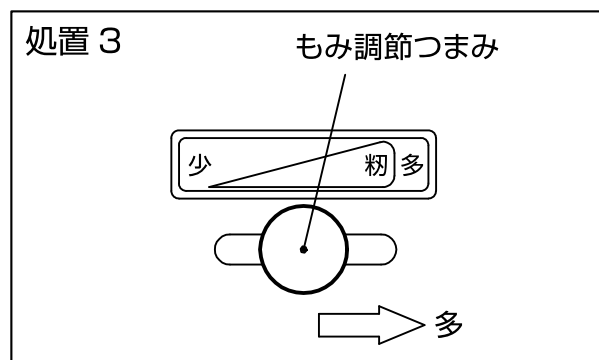


### 原因 5

もみ水分が高い。

### 処置 5

作業を中止し、再乾燥してください。



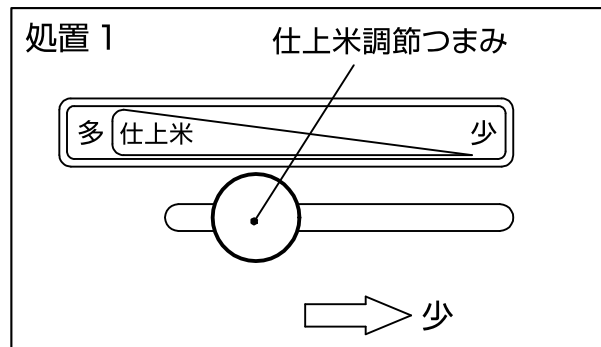
## 仕上米にもみが混入する

### 原因 1

仕上米調節つまみの開きが多すぎる。

### 処置 1

仕上米内のもみ混入が許容できる所まで仕上米調節つまみを「少」方向に動かしてください。



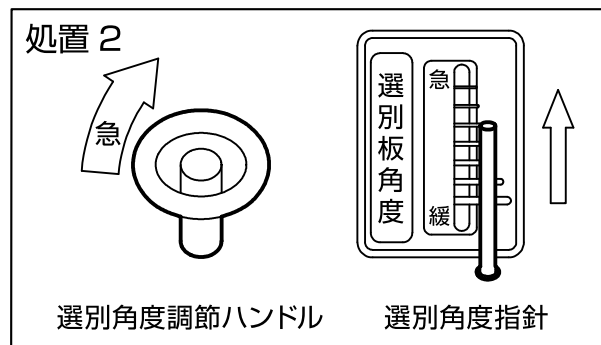
### 原因 2

選別板角度が緩すぎる。玄米層が厚い。

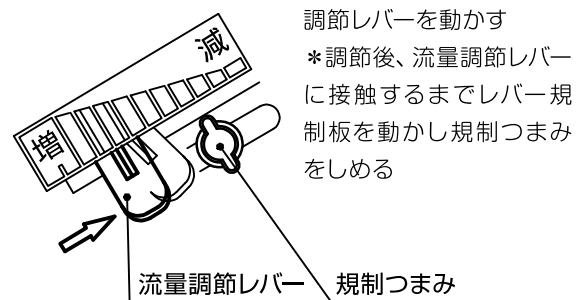
### 処置 2

- 選別板角度を徐々に急にし、玄米層ともみ層をほぼ同じ厚みにしてください。
- 選別板角度調節後、選別板上の層厚が厚い時は、すり米供給量を半目盛つつ減らしてください。

※層厚は7～10mmが適正です。



### 処置 2

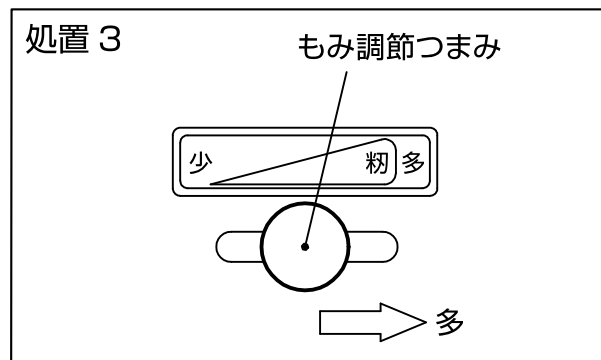


### 原因 3

脱ぶ率が低い。(もみ層幅が5cm以上)

### 処置 3

もみ調節つまみを「多」方向に動かしてください。





## 仕上米にもみが混入する

### 原因 4

すり米分配器あるいは選別板上にゴミ等の障害物によってすり米の供給量不足になっている。

- 選別板上の選別状態は大変良いにもかかわらずもみが混入する。
- すり米タンクが空になっていなのに選別板へのすり米供給量が急に減った。

### 処置 4

側面カバーをはずし、3枚の選別板上のすり米量を比較してください。層厚にバラツキがある時は、選別部の内部を懐中電灯等で照らし障害物をさがしてください。ない時は選別部カバーとその内部にある点検蓋をはずし、すり米分配器の内部を確認してください。

### ⚠ 注意

カバーは必ず電源スイッチを「OFF」にし、電源コンセントを抜いてから、はずしてください。

### ⚠ 注意

点検後、はずしたカバー・ビス・ナット類は元通りに取り付けてください。

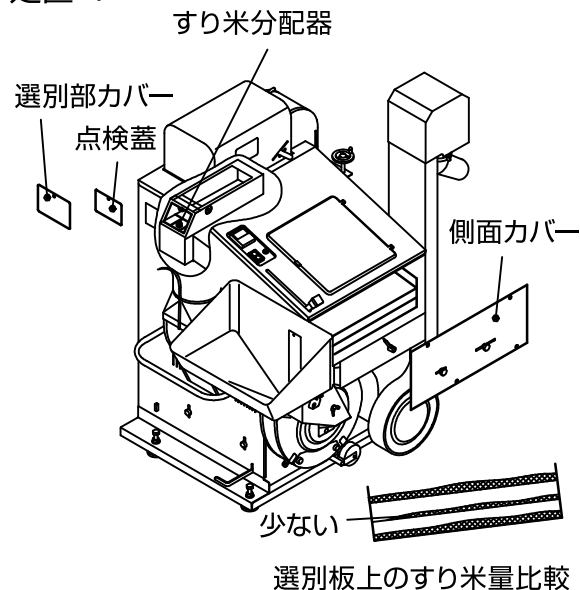
### 原因 5

もみ水分が高い。

### 処置 5

作業を中止し、再乾燥してください。

### 処置 4



## 仕上米に損傷が多い

### 原因 1

もみ水分が高い。

### 処置 1

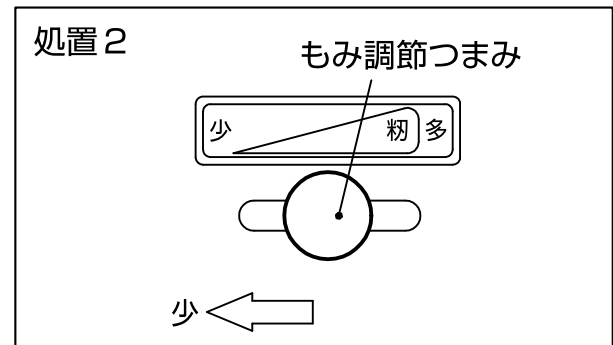
作業を中止し、再乾燥してください。

### 原因 2

もみ調節つまみの開きが多すぎる。

### 処置 2

返りもみ内の玄米が少なくなるようにもみ調節つまみを「少」方向に動かしてください。

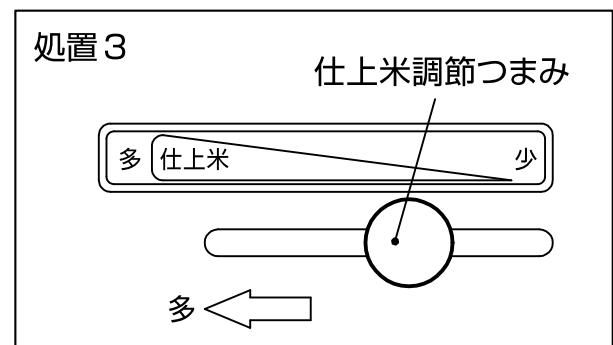


### 原因 3

仕上米調節レバーの開きが少なすぎる。

### 処置 3

仕上米内のもみ混入が許容できる範囲で仕上米調節レバーを「多」方向に動かしてください。



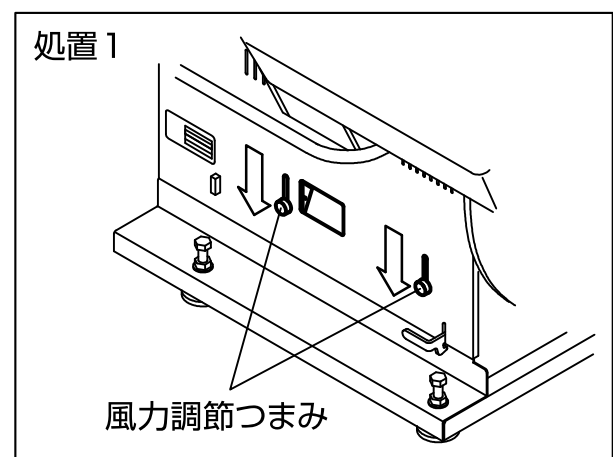
## 吸引パイプから玄米が多く飛ぶ

### 原因 1

風選が良すぎる

### 処置 1

風選を悪くしてください。  
風力調節つまみをゆるめ、つまみを下限まで下げてください。  
調節後は、必ずつまみをしめてください。

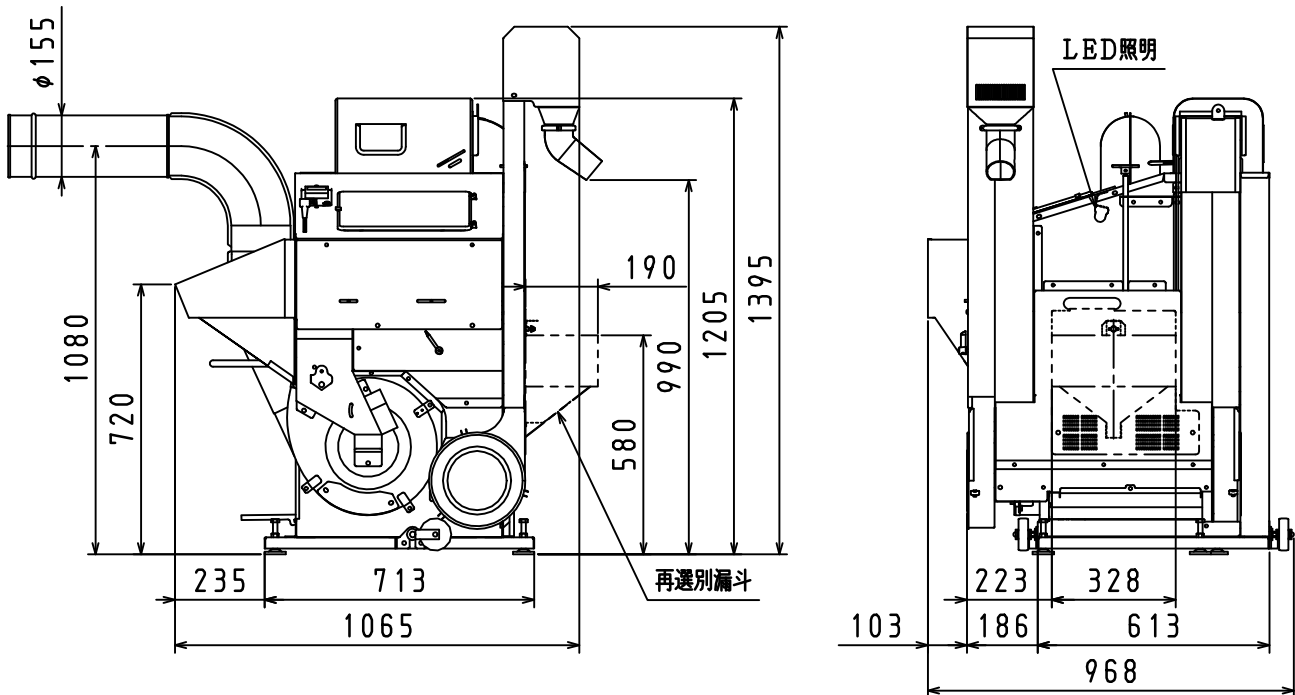


# 主要諸元・機体寸法

## 主要諸元

型 式	PMJ 20	
区 分	T1	T2
全 長 (mm)	1,065	
全 幅 (mm)	968	
全 高 (mm)	1,395	
機 体 重 量 (kg)	140	
能 率 (kg/H)	210~420	210~420
主 要 動 力 (W)	単相 100V 750	単相200V 750
脱ぷファン外径 (mm)	324	
脱ぷファン幅 (mm)	53	
脱ぷファン羽根枚数	16	
選 別 板 枚 数	3	
救 搬 送 能 力	最大8m(鉄管 水平直線)	
主 軸 回 転 数 (rpm)	2030	

## 機体寸法



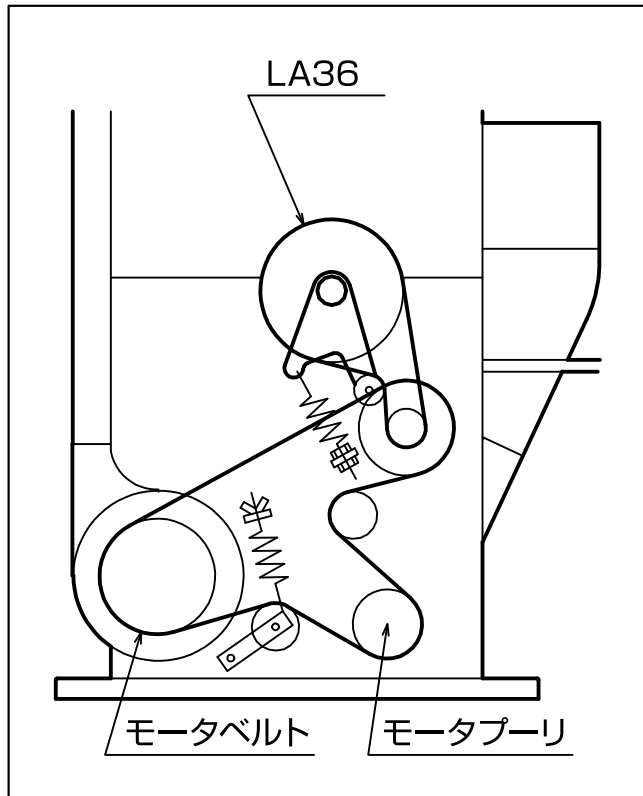
※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

※製物の性状によって、能率は変動します。

※単位はミリ

# ベルトサイズ・付属品

## ベルトサイズ



	モータプーリ	モータベルト
50Hz地区	Φ102	AA68
60Hz地区	Φ85	AA67

## 付属品

保証書	1部
取扱説明書	1部
吸引曲パイプ	1本
吸引パイプ	1本
ネズミ防止板（吸引パイプ用）	1コ
電源コード	1本
水準器	1コ

# 主要消耗部品・交換部品

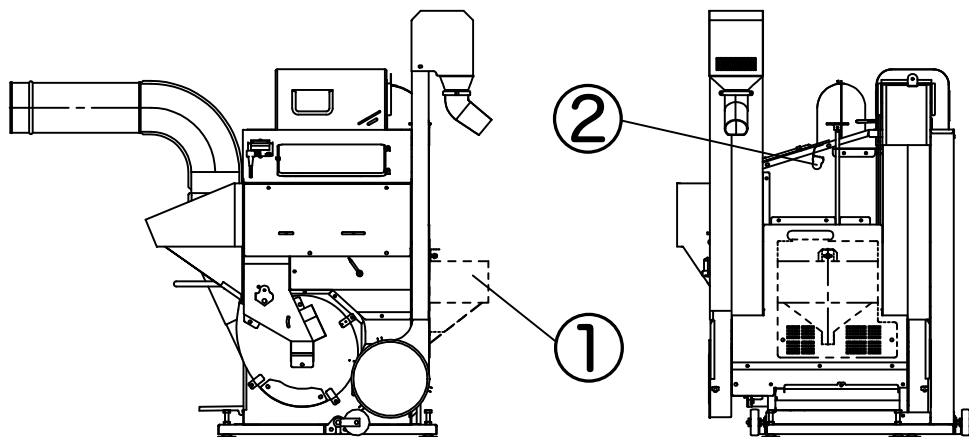
## 消耗部品・交換部品のリストと耐久時間について

No	部品名	コード番号	個数	耐久時間(目安)	備考	
1	脱ブファン組	722A1004000	1	300~500俵		
2	ライナー	711Z0101000	1	300~500俵		
3	ファンケースA組	722A1001000	1	200~300時間		
4	ファンケースB組	722P1001000	1	200~300時間		
5	脱ブ投口組	722A1003000	1	150~200時間		
6	脱ブ投口B	722A0013000	1	150~200時間		
7	仕上米ケースAS組	722F1003000	1	150~200時間		
8	スロワーケース RAS組	722F1006000	1	150~200時間		
9	跳上羽根AS	722C0030000	6	150~200時間		
10	吸引案内パイプ	722D0003000	1	150~200時間		
11	Vベルト	AA68	09123220068	1	100~150時間	50Hz用
12		AA67	09123110067	1	100~150時間	60Hz用
13		LA36	09122250036	1	100~150時間	
14	ベアリング		-	150~200時間		

※上記部品の耐久時間は、地域、もみの品種・条件、使用条件等により異なる場合があります。

# オプション部品一覧

No	部品名	コード番号	備考
1	再選別漏斗GP	745Q0101000	すり米の再選別を行なうための投入漏斗です
2	照明GP	745Q0102000	



# MEMO

A series of 23 horizontal dashed lines providing a template for writing a memo.



745Z0011000-202001

型式名	PMJ20
-----	-------